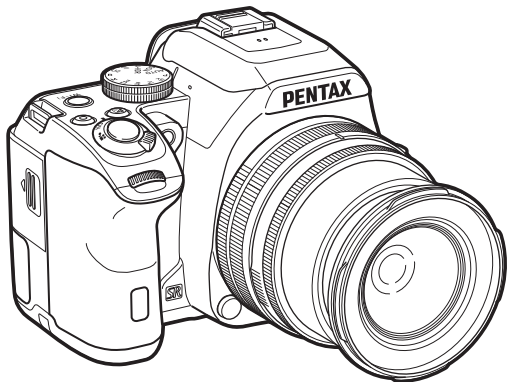


RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX *K-S2*

使用説明書



基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

共有 5

設定 6

付録 7

カメラの正しい操作のために、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

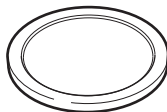
同梱品を確認しましょう



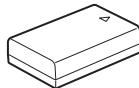
ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



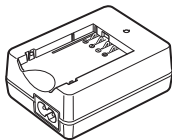
アイカップ Fr
(カメラ装着)



ボディマウントカバー
(カメラ装着)



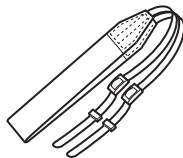
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI109



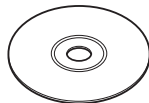
バッテリー充電器
D-BC109



ACコード
D-CO2J



ストラップ
O-ST132



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW156



スタートガイド



保証書

使用できるレンズ

本機で使用するレンズは、DA/DA L/D FA/FA Jまたは絞り **A**（オート）位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリを使用するときは、本書のp.113を参照してください。

K-S2の基礎知識

1

準備しましょう

2

いろいろな写真を撮影してみましょう

3

いろいろな再生と編集

4

画像を共有する

5

設定を変更する

6

付録

7

1

K-S2の基礎知識 p.7

K-S2の全体像を紹介しています。
まずここを読んでK-S2を知ろう！

- ☐ 各部の名称と機能 p.7
- ☐ 機能の設定方法 p.18
- ☐ メニュー一覧 p.21

2

準備しましょう p.30

K-S2を使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ☐ ストラップの取り付け p.30
- ☐ レンズの取り付け p.30
- ☐ バッテリーのセット p.31
- ☐ メモリーカードのセット p.34
- ☐ 画像モニターの開き方 p.35
- ☐ 初期設定 p.36

- ☐ 撮影のキホン p.39
- ☐ 画像の確認 p.42

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ... p.44

カメラが正しく動作することが確認できたら、
たくさん写真を撮ってみよう！

- ☐ 記録方法を設定する p.44
- ☐ 静止画を撮影する p.45
- ☐ 動画を撮影する p.49
- ☐ 露出を設定する p.51
- ☐ フラッシュを使う p.53
- ☐ フォーカスモードを設定する p.54
- ☐ ドライブモードを設定する p.59
- ☐ ホワイトバランスを設定する p.68
- ☐ 仕上がりイメージを決めて撮影する p.71
- ☐ 補正して撮影する p.74

いろいろな再生と編集.....p.77

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- ☐ 再生モードパレットの設定項目p.77
- ☐ 再生方法を変更するp.78
- ☐ パソコンと接続するp.82
- ☐ 画像を加工・編集するp.83

画像を共有するp.89

内蔵のWi-Fi機能を利用して、他の機器と画像を共有する方法を説明しています。

- ☐ Wi-Fiを有効にするp.89
- ☐ 通信端末で操作するp.91

設定を変更するp.100

その他の設定変更を掲載しています。

- ☐ カメラの設定p.100
- ☐ 画像管理に関する設定p.106

付録p.110

資料を掲載しています。

- ☐ 撮影モードの機能制限p.110
- ☐ 各種レンズ使用時の機能p.113
- ☐ 外付けフラッシュ利用時の機能p.116
- ☐ GPSユニットを利用するp.117
- ☐ 困ったときはp.118
- ☐ 主な仕様p.123
- ☐ 索引p.130
- ☐ ご注意くださいp.135
- ☐ 取り扱い上の注意p.136
- ☐ アフターサービスについてp.140

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

目次

本書の使い方	2
--------------	---

K-S2 の基礎知識	7
------------------	---

各部の名称と機能	7
----------------	---

ボタン・ダイヤル・レバー	8
--------------------	---

画像モニター	10
--------------	----

ファインダー	16
--------------	----

電子水準器	17
-------------	----

機能の設定方法	18
---------------	----

ダイレクトキーで設定する	18
--------------------	----

コントロールパネルで設定する	18
----------------------	----

メニューで設定する	19
-----------------	----

メニュー一覧	21
--------------	----

撮影メニュー	21
--------------	----

動画メニュー	25
--------------	----

再生メニュー	25
--------------	----

詳細設定メニュー	26
----------------	----

カスタムメニュー	28
----------------	----

準備しましょう	30
---------------	----

ストラップの取り付け	30
------------------	----

レンズの取り付け	30
----------------	----

バッテリーのセット	31
-----------------	----

バッテリーを充電する	31
------------------	----

バッテリーを入れる	32
-----------------	----

ACアダプターを使用する	33
--------------------	----

メモリーカードのセット	34
-------------------	----

画像モニターの開き方	35
------------------	----

初期設定	36
------------	----

電源を入れる	36
--------------	----

言語を設定する	37
---------------	----

日時を設定する	37
---------------	----

画面表示を設定する	38
-----------------	----

メモリーカードをフォーマットする	38
------------------------	----

撮影のキホン	39
--------------	----

ファインダーを使って撮影する	39
----------------------	----

ライブビュー画像を見ながら撮影する	41
-------------------------	----

画像の確認	42
-------------	----

いろいろな写真を撮影してみましょう ...	44
-----------------------	----

記録方法を設定する	44
-----------------	----

静止画の記録設定	44
----------------	----

動画の記録設定	44
---------------	----

静止画を撮影する	45
----------------	----

シーンモード	45
--------------	----

アドバンスドHDRモード	46
--------------------	----

露出モード	47
-------------	----

露出補正	48
------------	----

動画を撮影する	49
---------------	----

動画の再生	51
-------------	----

露出を設定する	51
---------------	----

ISO感度	51
-------------	----

測光方式	52
------------	----

フラッシュを使う	53
----------------	----

フォーカスモードを設定する	54
ファインダー撮影のAFモード	55
ライブビュー撮影のAFモード	57
AF位置を微調整する	58
ドライブモードを設定する	59
連続撮影	60
セルフタイマー	60
リモコン	61
ブラケット撮影	62
多重露出	63
インターバル撮影	64
インターバル合成	65
インターバル動画	66
スターストリーム	67
ホワイトバランスを設定する	68
マニュアルでホワイトバランスを調整する	70
色温度でホワイトバランスを調整する	70
仕上がりイメージを決めて撮影する	71
カスタムイメージ	71
デジタルフィルター	73
補正して撮影する	74
明るさを補正する	74
レンズ特性を補正する	75
ローパスフィルター効果を利用する	76
質感を強調する	76
いろいろな再生と編集	77
再生モードパレットの設定項目	77
再生方法を変更する	78
複数画像を表示する	78
フォルダーごとに表示する	79
撮影日ごとに表示する	79
連続して再生する(スライドショー)	80

画像を回転して表示する	80
AV機器と接続する	81
パソコンと接続する	82
画像を加工・編集する	83
画像のサイズを変更する	83
色モアレを補正する	84
デジタルフィルターで加工する	84
動画の編集	86
RAW展開	87
画像を共有する	89
Wi-Fiを有効にする	89
メニューで設定する	89
自分撮り SHUTTER (Wi-Fi) を押す	90
通信端末でタッチする	90
通信端末で操作する	91
通信端末とカメラを接続する	91
Image Syncの画面	93
通信端末から撮影する	94
画像を閲覧する	95
設定を変更する	98
設定を変更する	100
カメラの設定	100
ボタン/ダイヤルをカスタマイズする	100
よく使う設定値を登録	103
目的地の日時を表示する	105
カメラに保存する設定を選択する	105
画像管理に関する設定	106
画像を消去できないようにする(プロテクト)	106
フォルダー/ファイルの設定	106
著作権情報を設定する	109

付録	110
撮影モードの機能制限	110
特殊機能の組み合わせ制限	112
各種レンズ使用時の機能	113
絞りリングの使用を許可する	115
レンズ焦点距離を入力する	116
外付けフラッシュ利用時の機能	116
GPSユニットを利用する	117
天体を撮影する（アストロトレーサー）	118
困ったときは	118
センサーのクリーニング	120
エラーメッセージ	121
主な仕様	123
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	129
索引	130
ご注意ください	135
取り扱い上の注意	136
アフターサービスについて	140

著作権について

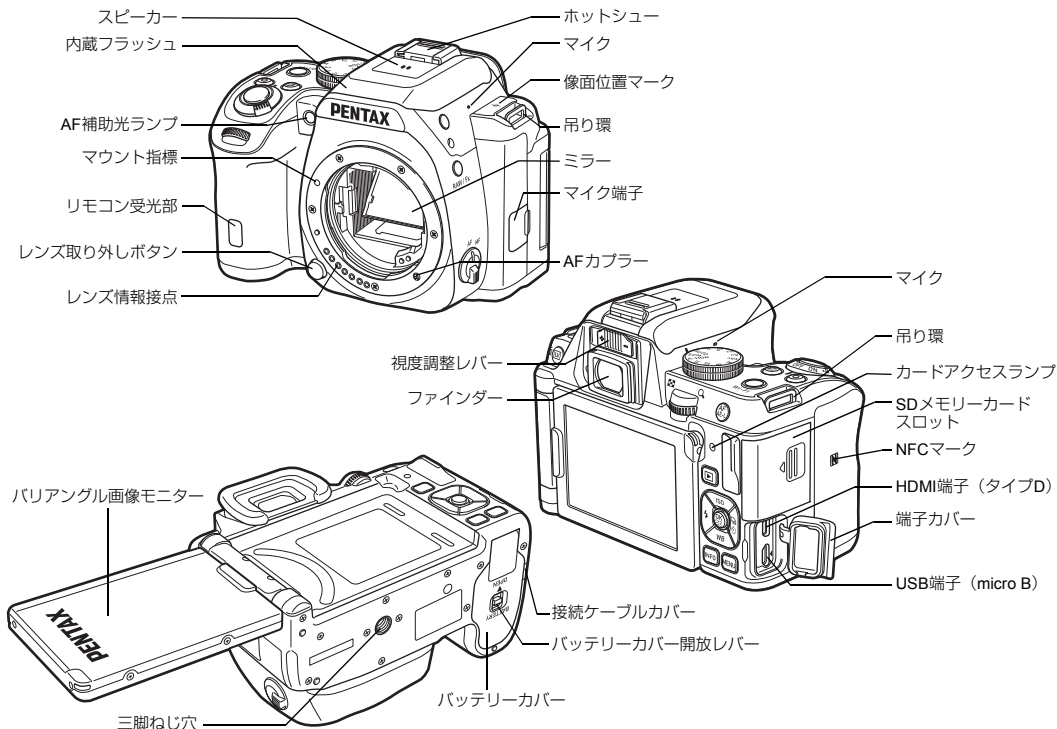
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

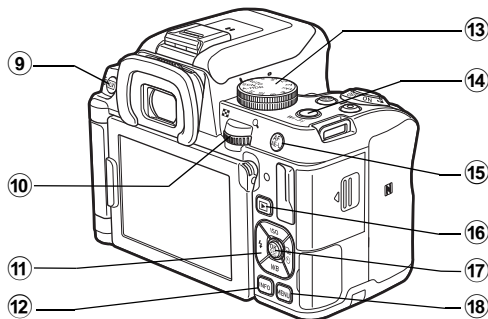
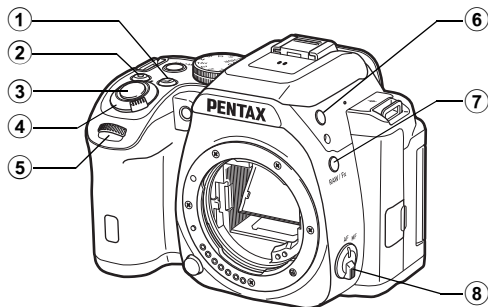
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー



- ① **露出補正ボタン (☒)**
露出補正值を変更するときに押します。(p.48)
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存できます。(p.43)
- ② **グリーンボタン (●)**
設定中の値をリセットします。
- ③ **シャッターボタン (SHUTTER)**
画像を撮影します。(p.40)
再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ④ **電源レバー**
電源のON/OFFと  (動画) モードを切り替えます。(p.36、p.49)
ONにすると  (静止画) モードになり、ランプが緑で点灯します。 に合わせると  モードになり、赤で点灯します。
- ⑤ **前電子ダイヤル (☀)**
露出などの設定値を変更します。(p.47)
メニューが表示されているときは、メニューの種類を切り替えます。(p.19)
再生モード時は、画像を切り替えます。
- ⑥ **フラッシュポップアップボタン (☒)**
内蔵フラッシュをポップアップさせます。(p.53)
- ⑦ **RAW/Fxボタン (RAW/Fx)**
機能を割り当てて使用します。(p.100)
- ⑧ **フォーカスモード切替レバー**
フォーカスモードを切り替えます。(p.54)
- ⑨ **ライブビュー/消去ボタン (LIVE/DELETE)**
ライブビューを表示します。(p.41)
再生モード時は、画像を消去します。(p.43)

- ⑩ **後電子ダイヤル (🔍)**
露出などの設定値を変更します。(p.47)
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。(p.19)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.18)
再生モード時は、画像を拡大／複数画像表示します。(p.43、p.78)
- ⑪ **十字キー (▲▼◀▶)**
ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。(p.18)
メニュー／コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.77)
- ⑫ **INFOボタン (INFO)**
画像モニターの表示を切り替えます。(p.10、p.14)
- ⑬ **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。(p.39)
- ⑭ **自分撮りシャッターボタン (自分撮り SHUTTER)**
カメラを自分に向けてライブビュー撮影するときに使用します。シャッターボタンとして使用できるときは、ランプが緑または赤で点灯します。(p.41)
それ以外のときは、Wi-Fi機能のオン／オフを切り替えます。(p.90)
- ⑮ **AF／AEロックボタン (AF/AE-L)**
SHUTTER半押し代わりにピントを合わせたり、撮影前の露出値を記憶します。(p.54、p.101)
- ⑯ **再生ボタン (🔄)**
再生モードに切り替えます。(p.42) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。

- ⑰ **OKボタン (OK)**
メニュー／コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
「測距点切替」が🔍／🔍のとき、または「コントラストAF」が🔍／🔍のときに押すと、測距点／AFエリアが移動できる状態になります。(p.56、p.57)
電源をONにするとランプが青で点灯し、しばらくすると消灯します。
- ⑱ **MENUボタン (MENU)**
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.19)

ランプについて

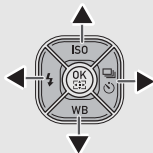
電源レバー／自分撮り **SHUTTER** / **OK** のランプは、以下のときは消灯します。

- **SHUTTER** 半押しから撮影終了まで
- **AF/AE-L** を押しているとき
- 再生モード
- メニュー表示中
- オートパワーオフ中

ランプの点灯については、 3メニュー「操作部の発光」で設定ができます。(p.27)

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。



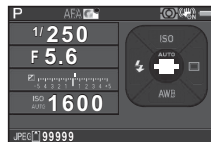
画像モニター

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。

ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。(p.39) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.41)

ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.18) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.13)



撮影待機状態
(ステータススクリーン)

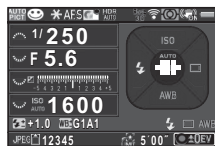


コントロールパネル



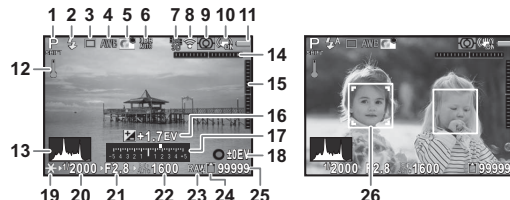
撮影情報表示選択

ステータススクリーン



- 1 撮影モード (p.45)
- 2 AEロック (p.49)
- 3 フォーカスモード (p.54)
- 4 カスタムイメージ (p.71)
- 5 デジタルフィルター (p.73) /HDR撮影 (p.74)
- 6 GPS測位状態 (p.117)
- 7 無線LAN通信状態 (p.89)
- 8 測光方式 (p.52)
- 9 Shake Reduction/自動水平補正 (p.22)
- 10 バッテリー残量
- 11 電子ダイヤル操作ガイド
- 12 シャッター速度
- 13 絞り値
- 14 露出補正 (p.48) /ブラケット撮影 (p.62)
- 15 露出バー
- 16 ISO感度 (p.51)
- 17 フラッシュモード (p.53)
- 18 測距点 (p.56)
- 19 ドライブモード (p.59)
- 20 ホワイトバランス (p.68)
- 21 フラッシュ光量補正 (p.53)
- 22 ホワイトバランス微調整 (p.69)
- 23 記録形式 (p.44)
- 24 メモリーカード
- 25 撮影可能枚数
- 26 多重露出/インターバル撮影/インターバル合成撮影回数
- 27 操作ガイド

ライブビュー



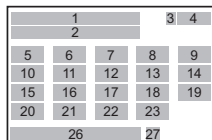
- 1 撮影モード (p.45)
- 2 フラッシュモード (p.53)
- 3 ドライブモード (p.59)
- 4 ホワイトバランス (p.68)
- 5 カスタムイメージ (p.71)
- 6 デジタルフィルター (p.73) /HDR撮影 (p.74)
- 7 GPS測位状態 (p.117)
- 8 無線LAN通信状態 (p.89)
- 9 測光方式 (p.52)
- 10 Shake Reduction/自動水平補正 (p.22) /Movie SR (p.25)
- 11 バッテリー残量
- 12 温度警告
- 13 ヒストグラム
- 14 電子水準器 (左右の傾き) (p.17)
- 15 電子水準器 (前後の傾き) (p.17)
- 16 露出補正 (p.48)
- 17 露出バー
- 18 操作ガイド、多重露出/インターバル撮影/インターバル合成撮影回数
- 19 AEロック (p.49)
- 20 シャッター速度
- 21 絞り値
- 22 ISO感度 (p.51)
- 23 記録形式 (p.44)
- 24 メモリーカード
- 25 撮影可能枚数
- 26 コントラストAF「顔検出」の顔検出枠 (p.57)

メモ

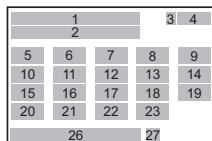
- ・カメラメニュー「ライブビュー」で、ライブビュー中に表示する情報の設定ができます。(p.22)

コントロールパネル

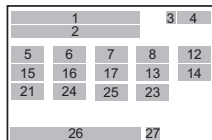
カメラモード



ライブビュー撮影時



カメラモード



- 1 機能名称
- 2 設定
- 3 メモリーカード
- 4 撮影可能枚数／記録可能時間
- 5 カスタムイメージ (p.71) ／シーンモード (p.45)
- 6 デジタルフィルター (p.73)
- 7 HDR撮影 (p.74)
- 8 明瞭強調 (p.76)
- 9 ローパスセクター (p.76)
- 10 ディストーション補正 (p.75)
- 11 周辺光量補正 (p.75)

- 12 測光方式 (p.52)
- 13 ハイライト補正 (p.74)
- 14 シャドー補正 (p.74)
- 15 AFモード (p.55) ／コントラストAF (p.57)
- 16 測距点切替 (p.56) ／フォーカスアシスト (p.57)
- 17 AF補助投光 (p.55)
- 18 高感度NR (p.52)
- 19 長秒時NR (p.48)
- 20 記録形式 (p.44)
- 21 JPEG記録サイズ (p.44) ／動画記録サイズ (p.44)
- 22 JPEG画質 (p.44)
- 23 Shake Reduction (p.22) ／Movie SR (p.25)
- 24 フレームレート (p.44)
- 25 録音レベル (p.50)
- 26 現在の日時
- 27 目的地 (p.105)

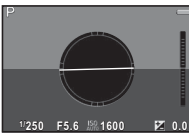
メモ

- ・ カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- ・ コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状態に戻ります。

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。

ファインダー撮影時

ステータス スクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示 (p.11)
電子水準器	カメラの傾きを表示。 中央に左右方向、右側または左側に上下方向の傾きを表示。 傾きがグラフの表示範囲を超えたときは、赤で表示  (例) 左1.5° (黄) 上下傾きなし (緑)
画像モニター オフ	画像モニターを非表示
電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き(方位)、協定世界時、撮影モード、露出値を表示。電源を入れ直すと、ステータススクリーンに戻る 別売のGPSユニットを装着し、GPSユニットが動作しているときのみ選択可能 (p.117)

ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示 (p.11)
電子水準器	ファインダー撮影時と同様の電子水準器を表示
情報表示なし	撮影モードやドライブモードなど、一部のアイコンを非表示

●メモ

- 電源を入れ直すと、ステータススクリーンが表示されます。
 4メニュー「モードメモリ」の「撮影情報表示」をオンに設定すると、電源を入れ直したときに「撮影情報表示選択」で選択した画面から表示されます。(p.105)

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押しと、1画像表示の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



1画像表示
(標準情報表示)



再生情報表示選択

標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.14)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示 (p.15) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示 (p.15) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

メモ

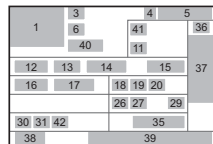
- 電源を入れ直して再生モードにすると、「再生情報表示選択」で選択した画面が表示されます。**カメラメニュー「モードメモリ」**の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.105)

詳細情報表示

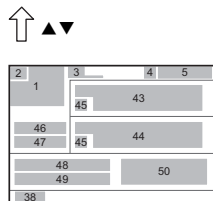
静止画



動画



2ページ目

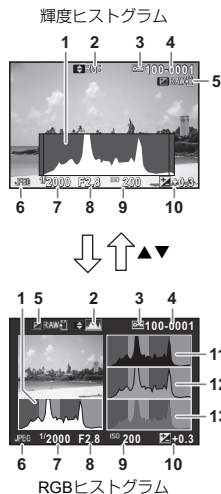


- 1 撮影画像
- 2 回転情報 (p.80)
- 3 撮影モード (p.45)
- 4 プロテクト (p.106)
- 5 フォルダ No.-ファイルNo. (p.106)
- 6 ドライブモード (p.59)
- 7 フラッシュモード (p.53)
- 8 フラッシュ光量補正 (p.53)
- 9 フォーカスモード (p.54)
- 10 測距点 (p.56)

- 11 測光方式 (p.52)
- 12 シャッター速度
- 13 絞り値
- 14 ISO感度 (p.51)
- 15 露出補正 (p.48)
- 16 ホワイトバランス (p.68)
- 17 ホワイトバランス微調整 (p.69)
- 18 デジタルフィルター (p.73)
- 19 HDR 撮影 (p.74)
- 20 明瞭強調 (p.76)
- 21 ディストーション補正 (p.75)
- 22 周辺光量補正 (p.75)
- 23 倍率色収差補正 (p.75)
- 24 回折補正 (p.75)
- 25 フリンジ補正 (p.87)
- 26 ハイライト補正 (p.74)
- 27 シャドウ補正 (p.74)
- 28 ローパスセクター (p.76)
- 29 Shake Reduction／自動水平補正 (p.22)／Movie SR (p.25)
- 30 記録形式 (p.44)
- 31 JPEG記録サイズ (p.44)／動画記録サイズ (p.44)
- 32 JPEG画質 (p.44)
- 33 色空間 (p.29)
- 34 色モアレ補正 (p.84)
- 35 レンズ焦点距離
- 36 画像仕上 (p.71)
- 37 カスタムイメージパラメーター
- 38 ページ送り
- 39 撮影日時
- 40 記録時間
- 41 録音レベル
- 42 フレームレート (p.44)
- 43 撮影者名 (p.109)
- 44 著作権者名 (p.109)
- 45 情報改ざん警告
- 46 高度 (p.117)
- 47 方位 (p.117)
- 48 緯度 (p.117)
- 49 経度 (p.117)
- 50 協定世界時 (p.117)

ヒストグラム表示

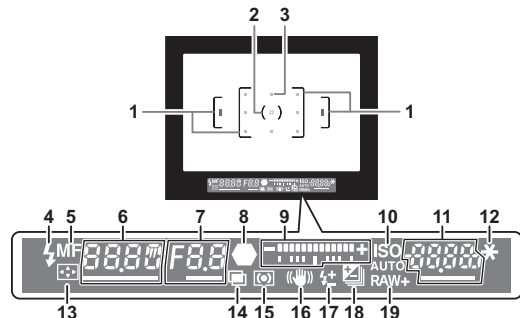
▲▼で輝度ヒストグラムとRGBヒストグラムが切り替えられます。



- 1 ヒストグラム (輝度)
- 2 RGBヒストグラム／輝度ヒストグラム切り替えプロテクト
- 3 フォルダ No.-ファイル No.
- 5 バッファ RAW保存可能
- 6 記録形式
- 7 シャッター速度
- 8 絞り値
- 9 ISO感度
- 10 露出補正
- 11 ヒストグラム (R)
- 12 ヒストグラム (G)
- 13 ヒストグラム (B)

ファインダー

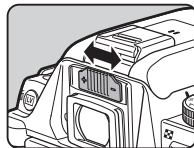
ファインダー撮影時は、ファインダー内に以下の情報が表示されます。



- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 AFフレーム (p.40) | 10 ISO/ISO AUTO |
| 2 スポット測光フレーム (p.52) | 11 ISO感度 (p.51) / 露出補正値 |
| 3 測距点 (p.56) | 12 AEロック (p.49) |
| 4 フラッシュマーク (p.53) | 13 測距点移動 (p.56) |
| 5 フォーカスモード (p.54) | 14 多重露出 (p.63) |
| 6 シャッター速度 | 15 測光方式 (p.52) |
| 7 絞り値 | 16 Shake Reduction (p.22) |
| 8 合焦マーク (p.40) | 17 フラッシュ光量補正 (p.53) |
| 9 露出バー/電子水準器 (p.17) | 18 露出補正 (p.48) / ブラケット撮影 (p.62) |
| | 19 記録形式 (p.44) |

メモ

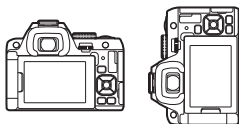
- ファインダー内の表示は、**SHUTTER** 半押し時と、測光作動時間（初期設定：10秒）の間に表示されます。
- SHUTTER** を半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が赤く点灯（スーパーインポーズ）します。**C3**メニュー「16 スーパーインポーズ」でオフに設定できます。
- ファインダー内の見え方は、視度調整レバーで調節できます。視度調整レバーが操作しづらいときは、アイカップを引き上げて外してください。ファインダー内のAFフレームがはっきり見えるように調整します。



電子水準器

カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー内の露出バーには左右方向、ライブビュー画面には前後・左右方向の電子水準器が表示できます。(p.11)

電子水準器を表示するかどうかは、3メニュー「電子水準器」で設定します。(p.22)



水平時（傾き0°）



左下がりに5°傾いているとき



縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき



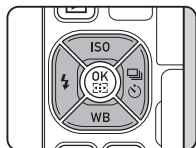
機能の設定方法

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で ▲▼◀▶ を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で INFO を押す (本書では  マークで表示)
メニュー	MENU を押す

ダイレクトキーで設定する

▲	ISO感度	p.51
▼	ホワイトバランス	p.68
◀	フラッシュモード	p.53
▶	ドライブモード	p.59



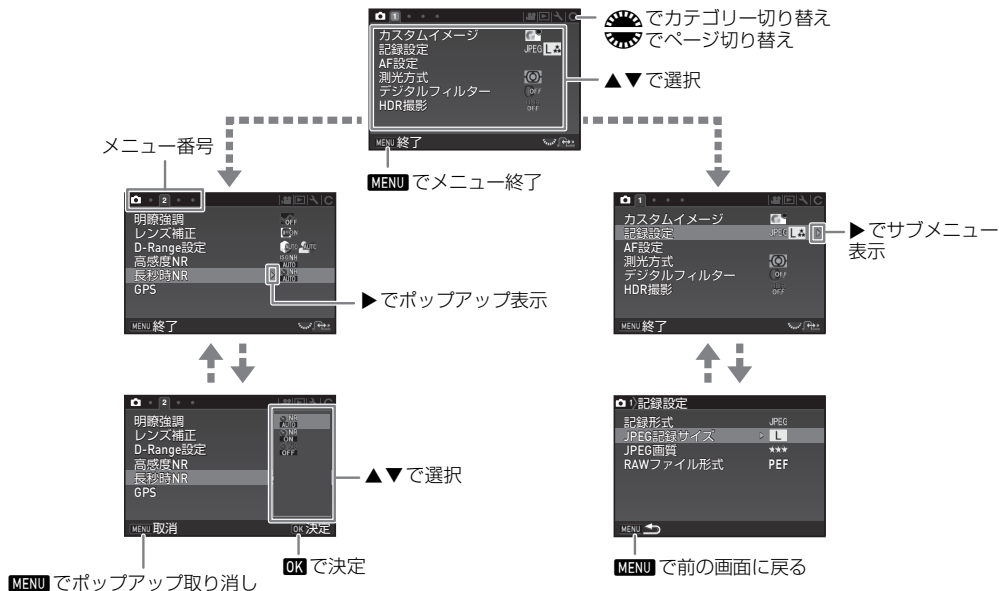
コントロールパネルで設定する

INFO

よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態で **INFO** を押します。



ほとんどの機能はメニューで設定します。コントロールパネルで設定できる機能もメニューで設定できます。



●メモ

- **C1**～**5**メニューは、サブメニューが表示されている状態でを操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- **MENU**を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示させたいときは、**C4**メニュー「25 メニュー選択の記憶」で設定します。
- 設定した内容は、 **3**メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。**C1**～**4**メニューは、**C5**メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。（一部の機能を除く）

撮影メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
📷1	露出モード *1		U1／U2モード時の露出モードを一時的に変更	P	p.104
	カスタムイメージ *2 *4		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.71
	シーンモード *3 *4		SCNモードのシーンを選択	人物	p.45
	記録設定	記録形式 *4	ファイル形式を設定	JPEG	p.44
		JPEG記録サイズ *4	JPEGの記録サイズを設定	[L]	
		JPEG画質 *4	JPEGの画質を設定	★★★	
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
	AF設定	AFモード *4	ファインダー撮影時のオートフォーカスの方法を選択	AFA	p.55
		測距点切替 *4	ファインダー撮影時のピント合わせの位置を選択	オート（11点）	p.56
		AF補助投光 *4	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.55
	測光方式 *4		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.52
	デジタルフィルター *4		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.73
	HDR撮影	HDR撮影 *4	ハイダイナミックレンジ撮影のタイプを選択	オフ	p.74
		振り幅設定 *4	露出を変化させる幅を設定	±2EV	
		自動位置調整	自動で位置調整を行うかどうかを設定	オン	

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
📷2	明瞭強調 *4	画像の凹凸感や質感を強調	オフ	p.76
	レンズ補正	ディストーション補正 *4	オフ	p.75
		周辺光量補正 *4	オフ	
		倍率色収差補正	オン	
		回折補正	オン	
	D-Range 設定	ハイライト補正 *4	オート	p.74
		シャドー補正 *4	オート	
	高感度NR *4	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.52
	長秒時NR *4	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.48
	GPS	別売のGPSユニットを使用するときの動作を設定	—	p.117
📷3	ライブビュー	コントラストAF *4	顔検出	p.57
		フォーカスアシスト *4	オフ	p.57
		グリッド表示	オフ	p.11
		ヒストグラム表示	オフ	
		白とび警告	オフ	
	電子水準器	ファインダー表示	オフ	p.17
		ライブビュー表示	オン	p.11
	自動水平補正	📷モード時の左右の傾きを補正	オフ	—
	ローパスセクター *4	Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.76
	Shake Reduction *4	手ぶれ補正機能を設定	オン	—
	焦点距離入力	レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.116

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
 4	クイックビュー	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン
		RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン
		消去	クイックビューで画像を消去	オン
		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	電子ダイヤル	P	露出モード別に  /  /  の動作を設定	Tv / Av / ➡ P
		Sv		- / ISO / -
		Tv		Tv / - / -
		Av		- / Av / -
		TAv		Tv / Av / P LINE
		M		Tv / Av / P LINE
		B		- / Av / -
		 P		- / - / -
		 Av		- / Av / P LINE
		 Tv		Tv / Av / P LINE
		 M		Tv / Av / P LINE
		回転方向設定	 /  を操作したときの値の変化	順方向

p.40

p.100

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
 4	ボタンカスタマイズ	RAW/Fxボタン	RAW/Fxの動作を設定	ワンタッチRAW+	p.100
		AF/AE-Lボタン	AF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	
		AF/AE-Lボタン（動画）	動画モード時のAF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	
		自分撮りシャッターボタン	自分撮りのときに自分撮りSHUTTERをシャッターボタンとして機能させるかどうか	オン	
	モードメモリ		電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	デジタルフィルター／HDR撮影／明瞭強調／撮影情報表示以外オン	p.105
	USERモード登録		よく使用する撮影設定をモードダイヤルU1／U2に登録	—	p.103

*1 モードダイヤルがU1／U2のときのみ表示

*2 SCNモード以外有的时候に表示

*3 SCNモードのときに表示

*4 コントロールパネルでも設定可能

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	記録設定 ^{*1}	記録サイズとフレームレートを設定	 / 30p	p.44
	録音レベル ^{*1}	記録時の録音レベルを設定	オート	p.50
	デジタルフィルター ^{*1}	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.73
	HDR撮影 ^{*1}	ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ	p.74
	明瞭強調 ^{*1}	画像の凹凸感や質感を強調	オフ	p.76
	Movie SR ^{*1}	手ぶれ補正機能を設定	オン	—

*1 コントロールパネルでも設定可能

再生メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	スライド ショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ
		繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン
	クイック拡大	拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	—
	白とび警告	再生モードの標準情報表示／ヒストグラム表示で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	—
	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	p.80
	全画像プロテクト	保存されているすべての画像をプロテクト	—	—
	全画像消去	保存されているすべての画像を消去	—	—

詳細設定メニュー

1

基礎知識

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
1	Language/言語		表示言語の切り替え	English	p.37
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2015/01/01	p.37
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.105
	文字サイズ		メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準	p.37
	電子音		合焦音／AE-L／セルフタイマー／リモコン／測距点移動／ワンタッチRAW+／Shake Reduction／Wi-Fi動作時の音量とオン／オフを切り替え	音量3／すべてオン	－
	画面表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示	オン	p.39
		配色	ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューのカーソルの配色を設定	1	p.38
LCD設定		画像モニターの明るさ／彩度／色味を調整	0	－	
2	USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.82
	HDMI出力		AV機器とHDMI端子で接続するときを設定	オート	p.81
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.106
	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	－	p.107
	ファイル名		画像に付与されるファイル名を設定	IMGP／_IMG	p.108
	ファイルNo.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続	オン	p.108
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	－	
著作権情報		Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.109	

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
3	フリッカー低減		電源周波数を設定し、画面のちらつきを低減	50Hz	－
	オートパワーオフ		一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.36
	操作部の発光	ボディライト	電源ON時に電源レバー／自分撮り SHUTTER ／ OK を点灯	明るい	p.10
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影のカウントダウン時にリモコン受光部を点灯	オン	
		リモコン	リモコン撮影の待機中／カウントダウン時／撮影後にリモコン受光部を点灯	オン	
	Wi-Fi		内蔵のWi-Fi機能の動作を設定	オフ	p.89
	リセット		 メニュー／  メニュー／  メニュー／  メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットの設定内容を初期化	－	－
4	ピクセルマッピング		センサーの画素の欠損部分を補完	－	p.119
	ダストリムーバル		センサーを振動させてクリーニング	オフ	p.119
	センサークリーニング		センサーをブローアでクリーニングするために、ミラーアップ	－	p.120
	フォーマット		メモリーカードをフォーマット	－	p.38
	バージョン情報		カメラのファームウェアのバージョンを表示	－	－
	認証マーク		無線LANの認証マークを表示	－	p.138

カスタムメニュー

1

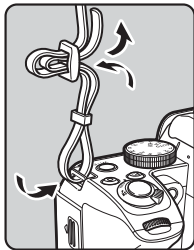
基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C1	1 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.48
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.51
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	－
	4 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	－
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	p.52
	6 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ	－
	7 B時の撮影方法	BモードのSHUTTERの動作を設定	Type1	－
C2	8 ブラケット撮影順	ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.62
	9 ワンブッシュブラケット	ブラケット撮影時に1回のリリースで全コマ撮影	オフ	p.62
	10 インターバル撮影の動作	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画のときの撮影間隔を、露光開始時からカウントするか露光終了時からカウントするか設定	撮影間隔	p.65
	11 インターバル撮影中のAF	インターバル撮影／インターバル合成のときに、1回目でフォーカス位置を固定するか撮影ごとにオートフォーカスを作動させるかを設定	フォーカスロックする	p.65
	12 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定	p.69
	13 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.69
	14 白熱灯下のAWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強	p.69

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C3	15 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン	p.70
	16 スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯	オン	p.16
	17 AF.Sの動作	AFモード AF.S で SHUTTER を全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.55
	18 AF.C 1コマ目の動作	AFモード AF.C で SHUTTER を全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	レリーズ優先	p.55
	19 AF.C連続撮影中の動作	AFモード AF.C で連続撮影中の優先動作を設定	フォーカス優先	p.55
	20 AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持	オフ	p.55
	21 リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.61
C4	22 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.53
	23 色空間	使用する色空間を設定	sRGB	—
	24 回転情報の記録	回転情報を記録	オン	p.80
	25 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない	p.20
	26 キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ	—
	27 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.58
	28 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが A 位置以外有的时候に撮影可能に設定	禁止	p.115
C5	カスタムのリセット	C1 ～ 4 メニューの設定内容をリセット	—	—

ストラップの取り付け

- 1** ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する



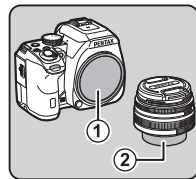
- 2** もう一方も同様に取り付ける

レンズの取り付け

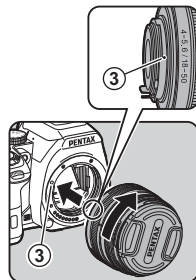
- 1** カメラの電源がOFFになっていることを確認

- 2** ボディマウントカバー (①) とレンズマウントカバー (②) を外す

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く

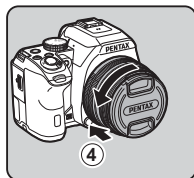


- 3** カメラとレンズのマウント指標 (赤点/③) を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタン (④) を
押しながらレンズを左へ回す



●注意

- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気システムのトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」(p.40)を参照してください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

●メモ

- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.113)を参照してください。

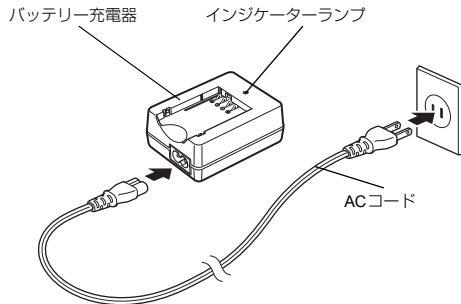
バッテリーのセット

本機専用のバッテリーD-LI109とバッテリー充電器D-BC109を使用します。

バッテリーを充電する

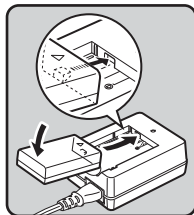
1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む



3 バッテリーの▲マークがある面を上にして充電器にセット

バッテリーを充電器に斜めに差し込んでからはめ込む
充電中はインジケータランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了



●注意

- バッテリー充電器D-BC109では、D-LI109以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケータランプが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い（バッテリーの寿命）

●メモ

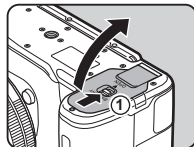
- 充電時間は、最大で約240分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40℃の環境で充電してください。

バッテリーを入れる

●注意

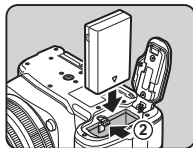
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。

1 バッテリーカバーを開ける バッテリーカバー開放レバー ①をスライドさせて開ける

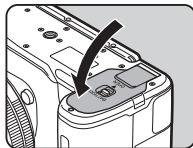


2 バッテリーの▲マークをカメラの外側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



3 バッテリーカバーを閉める



●メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意し、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

リサイクルについて

このマークは小型充電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

ACアダプターを使用する

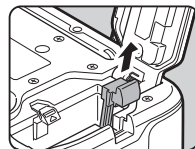
画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、別売のACアダプターキット K-AC128Jのご使用をお勧めします。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

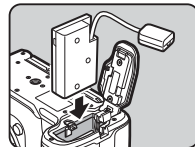
2 バッテリーカバーを開ける

バッテリーがセットされていたときは取り出す

3 バッテリー室右側の接続ケーブルカバーを引き出す

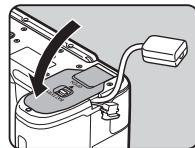


4 バッテリー室にDCカプラーを挿入

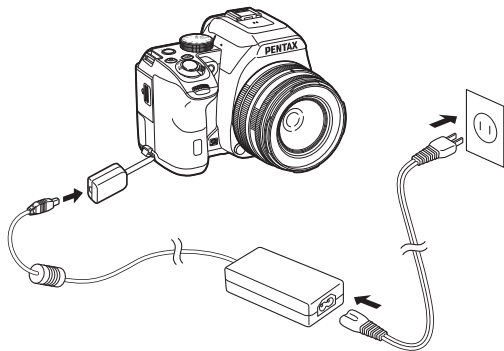


5 バッテリーカバーを閉める

接続ケーブルカバー部分からケーブルを引き出す



6 DCカプラーとACアダプターを接続



7 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

●注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- DCカプラーを取り出したら、接続ケーブルカバーを元に戻してください。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

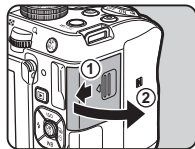
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

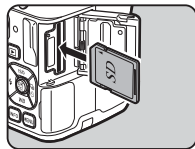
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

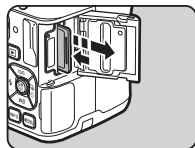
2 メモリーカードカバーを①の方向にスライド



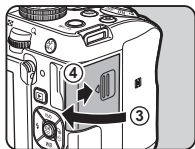
3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



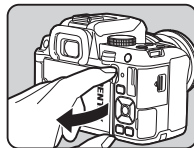
●注意

- カードアクセスランプ（オレンジ）点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.38）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影の途中で終了する場合があります。

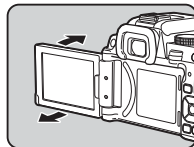
画像モニターの開き方

ここでは液晶面が内側の状態から開く手順を説明します。

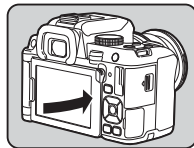
1 画像モニターの上下を持ち、横に180°開く



2 画像モニターを向こう側に180°回転させる 手前側は90°まで回転可能



3 画像モニターを本体側に閉じる



2

準備

●注意

- 液晶面が表側の状態から内側に閉じる場合は、手順2で手前側に180°回転させます。
- 液晶面が内側になっていると、再生とメニュー操作はできません。(HDMI接続時を除く)
- 画像モニター部分を持ってカメラを持ち上げたり、可動範囲を超えて回転させないでください。
- 画像モニターを横に開いたまま持ち運んだり、かばんなどに入れたりしないでください。液晶面を表側にして閉じた状態で持ち運んでも問題ありません。

●メモ

- 画像モニターの向きと角度によって、表示が回転します。
- 画像モニターを横に開いた状態で角度を調節し、ローアングルやハイアングルで撮影することもできます。またカメラを自分に向け、ライブビュー画像を確認しながら撮影することもできます。(p.41)

初期設定

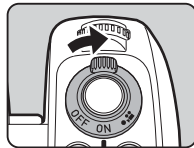
電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

1 電源レバーを「ON」に合わせる

ランプが緑で点灯

初めて電源を入れたときは、
「Language/言語」画面が表示



●メモ

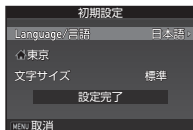
- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。(初期設定：1分) 3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。(p.27)

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択してOKを押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示

⬆に都市名が正しく設定されているときは、手順6へ



2 ▼で選択枠を⬆に移動し、▶を押す

「⬆現在地」画面が表示

3 ◀▶で都市を選択

☀で地図表示切り替え

指定できる都市は、「都市名一覧」(p.128) 参照



4 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□/☑を設定

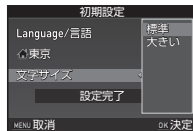
5 OKを押す

「初期設定」画面に戻る

6 ▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す

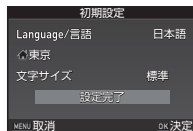
7 ▲▼で標準／大きいを選択、OKを押す

「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



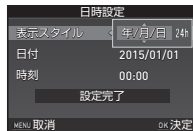
8 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「日時設定」画面が表示



日時を設定する

1 ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択



2 ▶を押し、▲▼で24h／12hを選択

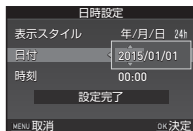
3 OKを押す

選択枠が「表示スタイル」に戻る

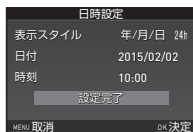
4 ▼を押してから▶を押す

選択枠が西暦年に移動

5 ▲▼で西暦年を設定 同様に月／日と時刻を設定



6 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す 「画面表示」画面が表示



画面表示を設定する

1 ◀▶で配色を選択 1～12の中から、ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューのカーソルの色を選択



2 OKを押す 撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモ

- 設定した言語／文字サイズ／日時／画面表示は、**1**メニューで変更できます。(p.26)

メモリーカードをフォーマットする

4

1 MENUを押す 1メニューが表示

2 太陽/月/星で4メニューを表示

3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す 「フォーマット」画面が表示

4 ▲で「フォーマット」を選択、OKを押す フォーマット開始→4メニューに戻る



5 MENUを押す

注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「K-S2」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「K-S2」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

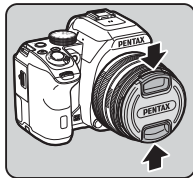
撮影のキホン

最適な撮影モードが自動で選択される **AUTO** モードで撮影してみましょう。

ファインダーを使って撮影する

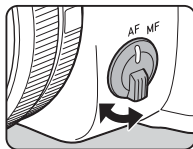
- 1** 図の矢印部分を押ししてレンズキャップを外す
沈胴式レンズ装着時は、レンズを繰り出す

☞ 沈胴式レンズの使い方 (p.40)

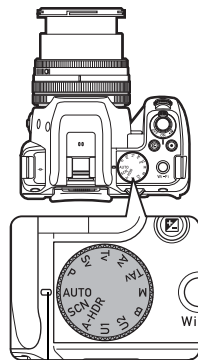


- 2** 電源を入れる

- 3** フォーカスモード切替レバーを **AF** に合わせる



- 4** モードダイヤルを回してダイヤル指標に **AUTO** を合わせる



ダイヤル指標

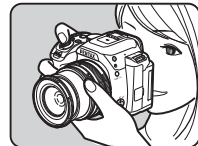
画像モニターに撮影モードが表示 (ガイド表示)

☞ ガイド表示の設定 (p.26)



- 5** ファインダーをのぞいて被写体を確認

ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整



6 AFフレーム内に被写体を入れて **SHUTTER** 半押し

ピントが合うと、ファインダー内の  が点灯し「ピピッ」と電子音



合焦マーク

7 **SHUTTER** 全押し

撮影画像が画像モニターに表示（クイックビュー）

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作



消去



拡大



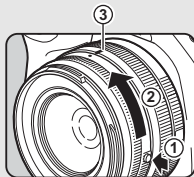
RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）

●メモ

- ・ **AF/AE-L** でピントを合わせることできます。（p.54）
- ・ 電子音の音量と音を鳴らすかどうかは、 1メニュー「電子音」で設定できます。（p.26）
- ・ クイックビューの画面表示と動作については、 4メニュー「クイックビュー」で設定できます。（p.23）「表示時間」を **HOLD** に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。

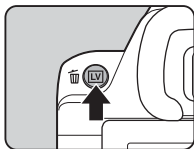
沈胴式レンズの使い方

smc PENTAX-DA L 18-50mm F4-5.6 DC WR REなどの沈胴式レンズを装着している場合は、レンズを収納した状態で電源を入れるとメッセージが表示されます。ズームリング上のボタン（①）を押しながら②の方向に回してレンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタンを押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせます。



ライブビュー画像を見ながら撮影する

- 1 「ファインダーを使って撮影する」(p.39)の手順5で、**[LV]**を押す
画像モニターにライブビュー画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

- [OK]** 拡大表示
 で倍率変更 (最大10倍)
 で拡大位置移動
 で中央に戻る
[OK] で等倍に戻る

[LV] ライブビュー終了

- 2 画像モニターのAFフレーム内に被写体を入れて **SHUTTER** 半押し
 ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッ」と電子音



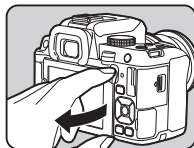
AFフレーム

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

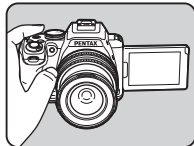
自分撮り

レンズを自分に向け、画像モニターを回転させてライブビュー撮影ができます。

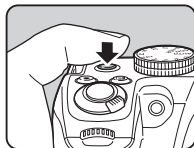
- 1 「ライブビュー画像を見ながら撮影する」(p.41)の手順2で、画像モニターを横に180°開く
 自分撮り **SHUTTER** が緑で点灯



- 2 レンズを自分に向ける



- 3 ライブビュー画像を確認し、自分撮り **SHUTTER** を押す
 撮影後は、次の操作を行うまでウィックビューが表示
 自分撮り **SHUTTER** を押すと、撮影待機状態に戻る



●注意

- 自分撮り **SHUTTER** で半押しはできません。フォーカスモードが **AF** のときは、ボタンを押すとオートフォーカスが作動後に撮影されます。ピントが合っていない場合も、リリース優先で撮影されます。
- 自分撮り **SHUTTER** で撮影が可能なきは、それ以外のボタン／ダイヤル操作は無効です。
- 以下のときは自分撮り **SHUTTER** で撮影できません。
 - HDMI接続時
 - 動画／バルブ撮影など2回リリースが必要なモードで、1回目のリリースで **SHUTTER** を押したとき（撮影開始／終了は同一のボタンを使用する）
- プレビューはできません。
- クイックビュー表示中に、消去／拡大はできません。
- 画像モニターは指定の角度を超えて可動させないでください。
- カメラを使用しないときは、画像モニターを閉じておいてください。

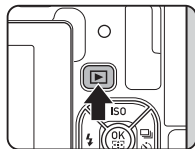
●メモ

- カメラメニュー「ボタンカスタマイズ」の「自分撮りシャッターボタン」がオン（初期設定）に設定されていて画像モニターが所定の角度になっているときだけ、自分撮り **SHUTTER** で撮影ができます。（p.100）自分撮り **SHUTTER** で撮影できるときは、ランプが緑または赤で点灯し、電源レバーのランプは消灯します。それ以外のときは、自分撮り **SHUTTER** はWi-Fi機能のオン／オフのスイッチとして機能します。（p.90）
- ドライブモードのセルフタイマー／リモコンを使用して自分撮りすることもできます。（p.59）

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 再生ボタンを押す



再生モードになり、最新画像が表示（1画像表示）



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

	左	前の画像を表示
	右	次の画像を表示
		消去
	右	拡大表示（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ○で中央に戻る OKで全体表示に戻る
	左	分割表示（p.78）
		RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）
		表示情報切り替え（p.14）
		再生モードパレット表示（p.77）

メモ

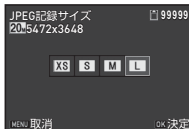
- 画像モニターに RAW が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。（バッファ RAW保存）

記録方法を設定する

静止画の記録設定



静止画の記録形式／記録サイズ／画質はコントロールパネル、または **1** メニュー「記録設定」で設定します。



記録形式	JPEG / RAW / RAW+
JPEG記録サイズ	L / M / S / XS
JPEG画質	★★★ / ★★ / ★
RAWファイル形式	PEF / DNG

●メモ

- 「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- 「RAW ファイル形式」の「PEF」は、PENTAX 独自の RAW ファイルフォーマットです。

動画の記録設定



動画の記録形式はコントロールパネル、または **1** メニュー「記録設定」で設定します。



記録サイズ	フレームレート
FullHD	30p / 25p / 24p
HD	60p / 50p

●注意

- ドライブモードのインターバル動画／スターストリームが設定されているときは、記録サイズ／フレームレートの設定はできません。「記録サイズ」は、ドライブモードの詳細設定で設定します。

静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	用途	参照
AUTO オートピクチャー モード	☺ (標準) / 👤 (人物) / 🌄 (風景) / 🌸 (マクロ) / 🏃 (動体) / 🌃 (夜景人物) / 🌅 (夕景) / 🌤 (青空) / 🌲 (フォレスト) から最適な 撮影モードをカメラが自動選択	p.39
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的 に合った撮影モードを選択	p.45
A-HDR アドバンスドHDR モード	「明瞭強調」をオンにして3枚 の画像を合成	p.46
P / Sv / Tv / Av / TAv / M / B 露出モード	シャッター速度 / 絞り値 / ISO 感度を設定して撮影	p.47

●注意

- 撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」(p.110)を参照してください。

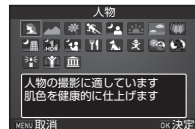
●メモ

- U1 / U2**には、よく使用する撮影モードと設定をまとめて登録しておいて、呼び出して利用することができます。(p.103)

シーンモード

- 1 モードダイヤルを**SCN**に合わせる
シーンモード選択画面が表示

- 2 シーンを選択



👤 人物	肌色を健康的に仕上げる
🌄 風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
🌸 マクロ	花などに近づいて撮影
🏃 動体	動きがある被写体を撮影
🌃 夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
🌅 夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
🌤 青空	深い青で青空を撮影
🌲 フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
🌃 夜景	夜景を撮影
🌃 夜景HDR	±1の露出が異なる3枚の画像を合成して仕上げる
🌃 ナイトスナップ	暗いところでのスナップ撮影
🍴 料理	彩度を高めにして料理などを撮影
🐾 ペット	動き回るペットなどを撮影
👶 キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影

 サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
 逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
 キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
 ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
 美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3 OKを押す

撮影待機状態

シーンを変更するときは  を回す

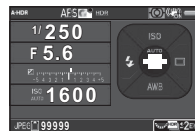
●メモ

- シーンは、コントロールパネルまたは  1メニューで変更することもできます。

アドバンスドHDRモード

1 モードダイヤルを A-HDR に合わせる

2 で振り幅を選択 ±1 / ±2 / ±3 から選択



●注意

- 一部の機能は使用できません。(p.110)

露出モード

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ *1	△ *1	○	○
Sv 感度優先 自動露出	×	×	○ *2	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	○	○	○ *3	○
M マニュアル 露出	○	○	○ *2	○
B バルブ露出	×	○	○ *2	×

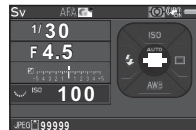
*1 4×メニュー「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能 (p.100)

*2 ISO AUTO選択不可

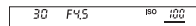
*3 ISO AUTO固定

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる

ステータススクリーンには、変更可能な値に  /  が表示



ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示



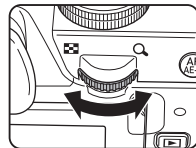
ライブビュー撮影では、変更可能な値に▶が表示



2 を回す

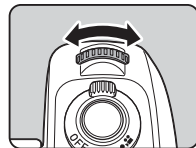
Av / **TAv** / **M** / **B** モードの絞り値が変更

Sv モードはISO感度が変更



3 を回す

Tv / **TAv** / **M** モードのシャッター速度が変更



●メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定できます。**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度／絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- M**モードでは、露出の調整中に適正露出との差がバーグラフで表示されます。
- B**モードでは、設定できる機能に制限があります。(p.110)
- ☂ / ☂ と ● を操作したときにどのように動作するかを、露出モードごとに設定できます。**4**メニュー「電子ダイヤル」で設定します。(p.100)
- 低速のシャッター速度で撮影するときは、コントロールパネルまたは**2**メニュー「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

オート	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
オフ	ノイズリダクションを行わない

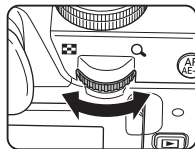
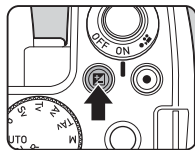
被写界深度を確認する（プレビュー）

4メニュー「ボタンカスタマイズ」の「RAW/Fxボタン」でRAW/Fxに光学プレビュー／デジタルプレビューを割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。(p.100)

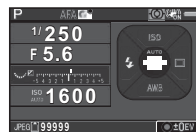
露出補正

露出を-5～+5 EV（☒モードは-2～+2 EV）の範囲で補正できます。

1 ☒を押してから☂を回す



補正中はステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューに☒と補正値が表示



ボタン・ダイヤル操作

☒	設定の開始／終了
●	リセット

●メモ

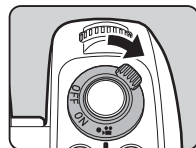
- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは、「ブラケット撮影」を利用します。(p.62)

露出を記憶する

撮影前の露出を記憶させるときは、「AEロック」を利用します。AEロックは、**AF/AE-L** に機能を割り当てることで使用できます。(p.100)

動画を撮影する

1 電源レバーを に合わせる



ランプが赤で点灯し、ライブビューが表示



音声

録画可能時間

2 モードダイヤルを設定する撮影モードに合わせる 撮影モードによって、以下の設定が可能

Av / Tv / M	各露出モードで動作（絞り値は撮影前のみ。 M モードはISO感度も変更可）
U1 / U2	登録されている露出モードに従って動作
その他	P モードで動作

3 ピントを合わせる

AFモード時は、**SHUTTER** 半押し

4 SHUTTER 全押し

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅し、記録されるファイル容量が表示

5 もう一度 SHUTTER を押す

撮影終了

6 撮影モードを終了するとき、電源レバーをONに戻す

撮影モードのファインダー撮影に戻る

●注意

- ・ 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- ・ デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- ・ 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- ・ 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。
- ・ 撮影モードにすると、Wi-Fiは無効になります。

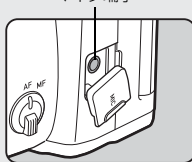
●メモ

- ・ 動画の設定は、コントロールパネルまたは、撮影メニューで設定します。(p.25)
- ・ コントロールパネルまたは、撮影メニュー「録音レベル」で、録音のレベルを設定できます。「マニュアル」を選択したときは、「音量」を0～20で設定できます。
- ・ 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

マイクを利用する

マイク端子に市販のステレオマイクを接続することもできます。外部マイクを利用すると、カメラの動作音などが録音されることを軽減できます。外部マイクは以下の仕様を推奨します。

マイク端子



プラグ	ステレオミニ (Φ3.5mm)
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサー
電源	プラグインパワー方式 (動作電圧2.0V以下)
インピーダンス	2.2kΩ

動画の再生

- 1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	(一時停止中) コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	(一時停止中) コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
☺	音量調節 (21段階)
📷	(一時停止中) 表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示／情報表示なし切り替え

メモ

- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.86)

露出を設定する

ISO感度

- 1 撮影待機状態で▲を押す

- 2 ▲▼で選択

ISO AUTO	自動調整 上限値／下限値を設定
ISO	ISO 100～51200の間 で固定値を設定



- 3 ☺ / ☹ で値を変更

- 4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- 📷モードでは、ISO 100～3200の間で設定できます。
- ISO 感度の調整ステップは 1EV ステップです。露出設定ステップに合わせるときは、C1メニュー「2 ISO感度ステップ」で設定します。

高感度時のノイズリダクション



ISO感度を高く設定しているときのノイズ低減処理を、コントロールパネルまたは📷2メニュー「高感度NR」で指定できます。



オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱／中／強	弱／中／強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

「カスタム」を選択した場合は、📷2メニューで、ISO感度別に設定ができます。



測光方式



センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

コントロールパネルまたは📷1メニュー「測光方式」で設定します。



📷 分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
📷 中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
📷 スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

メモ

- 📷1メニュー「5 測距点と露出の関連付」で、測光ポイントと測距点を連動させることができます。

フラッシュを使う

1 撮影待機状態で◀を押す

2 フラッシュモードを選択



自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
自動発光 +赤目軽減	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
強制発光	常に発光
強制発光 +赤目軽減	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
スローシンクロ +赤目軽減	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光、遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写すことが可能
マニュアル発光	発光量をFULL～1/128で設定

ボタン・ダイヤル操作



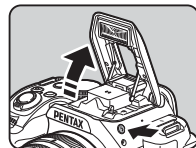
光量補正
(マニュアル発光) 発光量選択



リセット

3 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

4 **OK**を押す
内蔵フラッシュがポップアップ



メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO / SCN *	/ / /
P / Sv / Av	/ / / / /
Tv / TAv / M / B	/ / /

SCNモードの一部と**A-HDR**モードは、フラッシュが使用できません。(p.110)

- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、**C4**メニュー「22 充電中のレリーズ」で設定します。
- 使用するレンズによっては、フラッシュの使用に制限があります。(p.114)

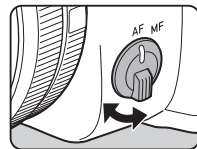
- **Av**モードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/180秒から低速側までシャッター速度が変化します。DA/DA L/DFA/FAJ/FA/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/180秒固定です。
- **Tv**/**TAv**/**M**モードでのフラッシュ撮影は、1/180秒以下のシャッター速度が設定できます。
- 内蔵フラッシュは、被写体との距離が約0.7～5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。

ISO感度	ガイド ナンバー	ISO感度	ガイド ナンバー
ISO 100	約12	ISO 3200	約68
ISO 200	約17	ISO 6400	約96
ISO 400	約24	ISO 12800	約136
ISO 800	約34	ISO 25600	約192
ISO 1600	約48	ISO 51200	約272

- 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.116)を参照してください。

フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで **AF**/**MF** を切り替えます。

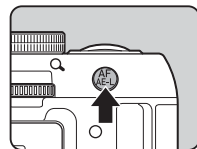


ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 AFS / AF.C とこれらを自動で切り替える AFA が選択可能 (p.55) 「測距点切替」でピントを合わせる位置を設定 (p.56) コントラスト検出式よりも高速なオートフォーカスが可能
	ライブビュー撮影
	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能 (p.57)

メモ

- **AF/AE-L** でピントを合わせることもできます。☑4メニュー「ボタンカスタマイズ」で**AF/AE-L**の動作を設定します。(p.100)



ファインダー撮影のAFモード



1 撮影待機状態で **INFO** を押す

2 「AFモード」を選択、**OK**を押す
「AFモード」画面が表示

3 AFモードを選択、**OK**を押す



AF.A 自動選択モード	被写体の状況に応じて AF.S / AF.C を自動で切り替え
AF.S シングルモード	SHUTTER 半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
AF.C コンティニュアスモード	SHUTTER 半押しの間、被写体に合わせ て常にピントを調整 ピントが合うとファインダー内の ●が点灯 ピントが合っていないくても撮影可能

コントロールパネルに戻る

4 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- **C3**メニューで、オートフォーカスの動作に関する以下の設定ができます。

17 AF.Sの動作	フォーカス優先／リリース優先
18 AF.C 1コマ目の動作	リリース優先／オート／フォーカス優先
19 AF.C連続撮影中の動作	フォーカス優先／オート／コマ速優先
20 AFホールド	オフ／弱／中／強

「20 AFホールド」は、合焦後に被写体が動いて見失ったときにすぐにオートフォーカスを再作動させるか、一定時間フォーカスを保持してからオートフォーカスを作動させるかを設定します。初期設定では、非合焦時にすぐにオートフォーカスが作動します。

- **SCN**モードでは、設定したシーンによって **AF.S** / **AF.C** のどちらかに固定されます。(p.110)
- **AUTO**モードは、**AF.A** 固定です。

測距点を選択する



- 1 撮影待機状態で **INFO** を押す
- 2 「測距点切替」を選択、**OK** を押す
「測距点切替」画面が表示
- 3 測距点を選択、**OK** を押す

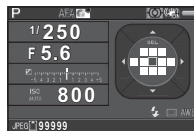


	オート (11点)	11点から自動でピント位置を決定
	オート (5点)	5点から自動でピント位置を決定
	セレクト	11点中の任意の1点を選択
	セレクトエリア 拡大	11点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の8点から選択 A.F.S 時は選択不可
	スポット	11点中の中央の1点にピントを合わせる

コントロールパネルに戻る

- 4 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る
手順3で / を選択した場合は、手順5へ

5 測距点を指定



ボタン・ダイヤル操作

	測距点を移動
OK	中央に戻す
OK 長押し	の機能を測距点移動モード／ダイレクトキーモードに切り替え

メモ

- / を選択したときは、**OK** のランプが点灯します。
- メニューから設定するときには、 1 メニュー「AF 設定」の「測距点切替」で設定します。
- **OK** 長押しの測距点移動モードへの切り替えを、**RAW/Fx** でできるように設定することもできます。(p.100)

ライブビュー撮影のAFモード



1 ライブビューの撮影待機状態で **INFO** を押す

2 「コントラストAF」を選択、**OK** を押す
「コントラストAF」画面が表示

3 AFモードを選択、**OK** を押す



顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示
追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていないでも撮影可能
多点オート	任意のエリアにピントを合わせる センサーを35分割（横7×縦5）し、AF エリアを任意の範囲に設定。AFエリア の大きさは、35分割中の1／9／15／ 25／35個のサイズから選択
セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

コントロールパネルに戻る

4 **MENU** を押す

撮影待機状態に戻る

手順3で / を選択した場合は、手順5へ

5 **OK** を長押し

6 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作



AFエリアを移動



（多点オート）AFエリア拡大／縮小



中央に戻す

7 **OK** を押す

AFエリアが確定

●注意

- ・ は、フォーカスロック動作（**SHUTTER** 半押し状態での構図調整）はできません。

●メモ

- ・ / を選択したときは、**OK** のランプが点灯します。
- ・ メニューから設定するときは、**カメラ3**メニュー「ライブビュー」の「コントラストAF」で設定します。
- ・ **AUTO** モードと **SCN** モードの / / は、 固定です。
- ・ コントロールパネル、または **カメラ3** メニュー「ライブビュー」の「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。**AF** / **MF** の両方で有効です。

AF位置を微調整する

C4

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

- 1** C4メニュー「27 AF微調整」を選択、▶を押す
「27 AF微調整」画面が表示

- 2** 一律／個別を選択、OKを押す

一律	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別	使用中のレンズの調整値を登録（最大20種類）

- 3** 「設定」で値を調整



ボタン・ダイヤル操作

- ▶／ 右 前方向に調整
- ◀／ 左 後方向に調整
- リセット

- 4** OKを押す
設定値が登録

- 5** MENUを2回押す
撮影待機状態に戻る

ドライブモードを設定する

以下のドライブモードが選択できます。



1コマ撮影 (□)	通常の撮影
連続撮影 (📷 / 📷)	SHUTTER を押している間に連続して撮影 (p.60)
セルフタイマー (🕒 / 🕒 / 🕒)	SHUTTER を押してから12秒後／2秒後に撮影 (p.60)
リモコン (📡 / 📡 / 📡)	リモコンで撮影 (p.61)
ブラケット撮影 (📷 / 📷 / 📷)	露出が異なる画像を連続して3枚撮影 (p.62)
多重露出 (📷 / 📷 / 📷 / 📷)	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影 (p.63)
インターバル撮影 (INT / INT🕒 / INT🕒)	指定時刻から一定間隔で自動的に連続撮影 (p.64)
インターバル合成 (INT📷 / INT📷 / INT📷)	一定間隔で撮影した画像を1枚に合成 (p.65)
インターバル動画 (INT🕒 / INT🕒 / INT🕒)	一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイルで保存 (p.66)
スターストリーム (📷 / 📷 / 📷)	インターバル合成で撮影した静止画を1つの動画ファイルで保存 (p.67)

📌 注意

- 一部の撮影モードまたは設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.110)

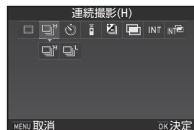
📌 メモ

- 📷モードでは、リモコン (📡のみ) / インターバル動画 / スターストリームが選択できます。
- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。📷 4メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに「1コマ撮影」に戻ります。(p.105)
- セルフタイマー / リモコンを使用するドライブモードを選択したときは、Shake Reductionが自動的にオフになります。
- セルフタイマー / リモコンを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを利用してください。(p.49)

連続撮影

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 連続撮影アイコンを選択、▼を押す



- 3 ◀▶で選択、OKを押す

連続撮影 (H)	高速
連続撮影 (L)	低速

撮影待機状態に戻る

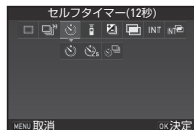
メモ

- 「AFモード」が**AF-S**のときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。

セルフタイマー

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 セルフタイマーアイコンを選択、▼を押す



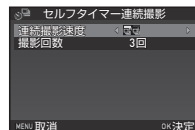
- 3 ◀▶で選択

セルフタイマー (12秒)	12秒後
セルフタイマー (2秒)	2秒後
セルフタイマー (連続)	連続撮影 (12秒後)

セルフタイマー / 連続撮影を選択したときは、手順7へ

- 4 INFOを押す

- 5 ◀▶で連続撮影速度／撮影回数を設定する



- 6 OKを押す
手順2の画面に戻る

- 7 OKを押す
撮影待機状態に戻る

- 8 SHUTTER 半押し→全押し
12秒後または2秒後に撮影

リモコン

1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 ̳を選択、▼を押す



3 ◀▶で選択

̳	3秒後リリース
̳	連続撮影

̳/̳ssを選択したときは、手順7へ

4 INFOを押す

5 ◀▶で「連続撮影速度」を設定する



6 OKを押す
手順2の画面に戻る

7 OKを押す
撮影待機状態に戻る

8 SHUTTER 半押し

9 カメラ正面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

メモ

- リモコン撮影できる距離は、カメラ正面から約4mです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、C3メニュー「21 リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの ̳ ボタンでピント合わせができます。Fn ボタンには対応していません。

ブラケット撮影

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 を選択、▼を押す



- 3 ◀▶で選択

	セルフタイマー
	リモコン

を選択したときは、手順7へ

- 4 **INFO**を押す

- 5 ◀▶で動作を選択



- 6 **OK**を押す
手順2の画面に戻る

- 7 ブラケット幅を設定

ボタン・ダイヤル操作

	ブラケット幅変更（最大±3 EV）
	露出補正
	リセット

- 8 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

- 9 3枚撮影する
撮影が終了すると、手順8の撮影待機状態に戻る

●メモ

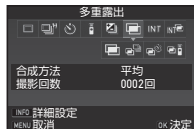
- ブラケット幅は、**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- C2**メニューで、ブラケット撮影に関する以下の設定ができます。

8 ブラケット撮影順	3枚の撮影順を変更
9 ワンプッシュブラケット	1回のレリーズで3枚まとめて撮影

多重露出

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 [] を選択、▼を押す



- 3 ◀▶ で選択

	連続撮影
	セルフタイマー
	リモコン

設定を変更しない場合は、手順7へ

- 4 [INFO] を押す

- 5 撮影条件を設定



合成方法	平均／加算／比較明から選択
撮影回数	2～2000回で設定
連続撮影速度 ／セルフタイマー ／リモコン	それぞれの動作モードを選択

- 6 [OK] を押す
手順2の画面に戻る

- 7 [OK] を押す
撮影待機状態に戻る

- 8 撮影する
クイックビューが表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
	撮影済み画像を保存し、[]メニューを表示

設定回数の撮影が終了すると、手順7の撮影待機状態に戻る

●メモ

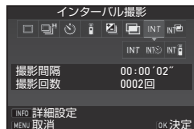
- ・「合成方法」は、それぞれ以下のように合成されます。

平均	露光量を平均して合成
加算	露光量を加算して合成
比較明	1枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成

インターバル撮影

1 撮影待機状態で **▶** を押す
ドライブモード画面が表示

2 INT を選択、**▼** を押す



3 **◀▶** で選択

INT	セルフタイマー
INT	リモコン

設定を変更しない場合は、手順7へ

4 **INFO** を押す

5 撮影条件を設定



撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	2～2000回で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
セルフタイマー／リモコン	それぞれの動作モードを選択

6 **OK** を押す
手順2の画面に戻る

7 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

8 撮影する
「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で **MENU** を押す
設定回数の撮影が終了すると、手順7の撮影待機状態に戻る

●メモ

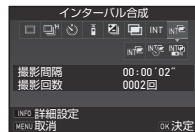
- ・インターバル撮影を行うと、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。インターバル撮影後に別のドライブモードで撮影を行う場合は、再度新しいフォルダーが作成されます。
- ・「撮影間隔」の最小値は、デジタルフィルター／明瞭強調設定時は5秒、「HDR撮影」設定時と**A-HDR**モード時は10秒になります。
- ・インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画では、「撮影間隔」で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されます。「撮影間隔」よりもシャッター速度が長い場合は、途中の撮影がスキップされます。たとえば「撮影間隔」が2秒でシャッター速度が3秒の場合、2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光中のため撮影されず、結果的に指定した撮影回数のコマ数を撮影せずに終了します。このような場合は、**C2**メニュー「10 インターバル撮影の動作」で「撮影待機時間」に設定すると、各コマの撮影が終了してから指定した間隔で撮影ができます。「10 インターバル撮影の動作」の設定によって、手順5の画面の表示が変わります。
- ・インターバル撮影／インターバル合成では、1回目のフォーカス位置に固定して撮影されます。撮影ごとにオートフォーカスを作動させる場合は、**C2**メニュー「11 インターバル撮影中のAF」を「フォーカスロックしない」に設定します。

インターバル合成

星や月の光跡などを1枚の画像に記録します。

- 1 撮影待機状態で**▶**を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 **INT**を選択、**▼**を押す



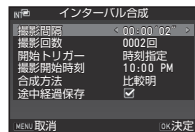
- 3 **◀▶**で選択

	セルフタイマー
	リモコン

設定を変更しない場合は、手順7へ

- 4 **INFO**を押す

- 5 撮影条件を設定



3

撮影

撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	2～2000回で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
合成方法	平均／加算／比較明から選択
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は☑
セルフタイマー／リモコン	それぞれの動作モードを選択

6 OK を押す
手順2の画面に戻る

7 OK を押す
撮影待機状態に戻る

8 撮影する
「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で **MENU** を押す
設定回数の撮影が終了すると、手順7の撮影待機状態に戻る

●メモ

- ・「途中経過保存」を☑に設定した場合、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。インターバル合成後に別のドライブモードで撮影を行う場合は、再度新しいフォルダーが作成されます。
- ・撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

インターバル動画

📷モードのときは、一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル（Motion JPEG、拡張子：.AVI）で保存する「インターバル動画」が撮影できます。

1 電源レバーを📷に合わせて▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 INTを選択、▼を押す



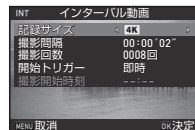
3 ◀▶で選択

INT	セルフタイマー
INT	リモコン

設定を変更しない場合は、手順7へ

4 **INFO** を押す

5 撮影条件を設定



記録サイズ	[4K] / [FullHD] / [HD] から選択
撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	8～2000回（[4K]は8～500回）で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
セルフタイマー／リモコン	それぞれの動作モードを選択

6 **OK** を押す
手順2の画面に戻る

7 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

8 撮影する
「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影
クイックビュー表示後、画像モニター消灯
撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で **MENU** を押す
設定回数の撮影が終了すると、手順7の撮影待機状態に戻る

●注意

- ・「Movie SR」は、オフ固定です。
- ・「録音レベル」は、ミュート固定です。

●メモ

- ・「撮影間隔」の最小値は、デジタルフィルター／明瞭強調設定時は5秒、「HDR撮影」設定時は10秒になります。

スターストリーム

⚙️ モードのときは、インターバル合成で撮影した静止画を比較明合成で1つの動画ファイル（Motion JPEG、拡張子：.AVI）で保存する「スターストリーム」が撮影できます。
星や月の光跡などを動画で表現できます。

1 電源レバーを⚙️に合わせて▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 **📷** を選択、▼を押す



3 ◀▶ で選択

🕒	セルフタイマー
📡	リモコン

設定を変えない場合は、手順7へ

4 **INFO** を押す

5 撮影条件を設定



記録サイズ	[4K] / [FullHD] / [HD] から選択
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	8～2000回（[4K]は8～500回）で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
フェードアウト	光跡をフェードアウトするレベルをオフ／弱／中／強から選択
セルフタイマー／リモコン	それぞれの動作モードを選択

6 OK を押す
手順2の画面に戻る

7 OK を押す
撮影待機状態に戻る

8 撮影する
「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、待機中画面で **MENU** を押す
設定回数の撮影が終了すると、手順7の撮影待機状態に戻る

●注意

- ・「Movie SR」は、オフ固定です。
- ・「録音レベル」は、ミュート固定です。

●メモ

- ・モードダイヤルの位置にかかわらず、**M**モードで動作します。
- ・撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で▼を押す
ホワイトバランス設定画面が表示

2 ホワイトバランスを選択



AWB	オートWB
	マルチパターンオートWB
	太陽光
	日陰
	曇天
	日光色蛍光灯
	昼白色蛍光灯
	白色蛍光灯
	電球色蛍光灯
	白熱灯
	フラッシュ
CTE	Color Temperature Enhancement
	マニュアルWB
K	色温度

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作



(蛍光灯) 種類選択



設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー



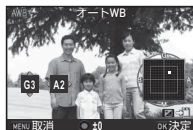
プレビュー画像を保存 (保存可能時のみ)

微調整が不要なときは、手順5へ

3

INFO を押す

微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作



G-M (グリーンーマゼンタ) 間



B-A (ブルーアンバー) 間



リセット

4

OK を押す

手順2の画面に戻る

5

OK を押す

撮影待機状態に戻る

●注意

- ドライブモードが多重露出／インターバル撮影／インターバル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。

●メモ

- A** は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。(Mモード時は不可)
- C2**~3メニューで、ホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

12 WBの光源調整範囲	固定／自動調整
13 フラッシュ発光時のWB	オートWB／マルチパターン オートWB／フラッシュ／変更しない
14 白熱灯下のAWB	強／弱
15 色温度ステップ	ケルビン／ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.68)の手順2で、を選択



- 2 測定する照明の下で白い被写体を選択し、**SHUTTER**全押し
撮影画像表示

- 3 **▲▼◀▶**で測定範囲を指定
○で中央に戻る



- 4 **OK**を押す
ホワイトバランス設定画面に戻る
測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。**OK**で再測定、手順3に戻る

●メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスをマニュアルホワイトバランスに登録できます。(p.77)

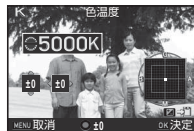
色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.68)の手順2で、**K**を選択

- 2 **INFO**を押す

- 3 色温度を調整
2500～10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作



100ケルビン単位



1000ケルビン単位



微調整

- 4 **OK**を押す
ホワイトバランス設定画面に戻る

●メモ

- C3メニュー「15 色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。で20ミレッド単位、で100ミレッド単位で変更ができます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真の撮影したいときなどは、でき上が
りイメージを先に決めてから撮影します。

いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つ
けてください。

カスタムイメージ



- 1** コントロールパネル「カスタムイメージ」を選択、
OKを押す

カスタムイメージ設定画面が表示

- 2** 画像仕上を選択



鮮やか
ナチュラル
人物
風景
雅 (MIYABI)
ポップチューン

ほのか
銀残し
リバーサルフィルム
モノトーン
クロスプロセス

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

RAW/Fx

設定を適用した背景画像をデジタルプレ
ビュー



プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

- 3** **INFO** を押す

パラメーター設定画面が表示

- 4** パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作



パラメーター選択



値調整



シャープネス/ファインシャープネス切り
替え (📷モード時は不可)



リセット

- 5** **OK** を押す

手順2の画面に戻る

- 6** **OK** を押す

コントロールパネルに戻る

- 7** **MENU** を押す

撮影待機状態に戻る

●注意

- **AUTO** / **SCN** モードのときは、設定できません。
- ドライブモードが多重露出／インターバル撮影／インターバル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。

撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

3

撮影

「クロスプロセス」を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

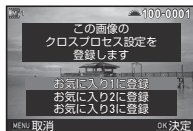
1 再生モードの1画像表示で▼を押す

再生モードパレットが表示

2 を選択、**OK** を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索
見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

3 でクロスプロセス画像 を選択



4 登録する番号を選択、**OK** を押す

指定した画像の設定がお気に入り1～3に登録

●メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.71)の手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターで気に入る1～3を選択して呼び出します。

デジタルフィルター



1 コントロールパネル「デジタルフィルター」を選択、**OK**を押す

デジタルフィルター設定画面が表示

2 フィルターを選択

デジタルフィルター撮影を終了するときは「フィルターオフ」を選択



色抽出	シェーディング
色の置換え	ネガポジ反転
トイカメラ	ソリッドモノカラー
レトロ	ハードモノクローム
ハイコントラスト	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作



設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー



プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 **INFO** を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作



パラメーター選択



値調整

5 **OK** を押す

手順2の画面に戻る

6 **OK** を押す

コントロールパネルに戻る

7 **MENU** を押す

撮影待機状態に戻る

●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.110)
- ドライブモードが多重露出／インターバル撮影／インターバル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

●メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.84)

補正して撮影する

明るさを補正する

3

撮
影

ハイライト補正／シャドウ補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。

コントロールパネル、またはCAM2メニュー「D-Range設定」で設定します。



●注意

- ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

●メモ

- 📷モードのときのハイライト補正は、オート／オフが設定できます。

HDR撮影



露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

- 1 コントロールパネル「HDR撮影」を選択、**OK**を押す
「HDR撮影」画面が表示

- 2 ◀▶でタイプを選択



- 3 ▼を押し、◀▶で露出を変化させる幅を選択

- 4 **OK**を押す
コントロールパネルに戻る

- 5 **MENU**を押す
撮影待機状態に戻る

●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.110)
- 「記録形式」は、JPEG固定です。「記録形式」がRAW／RAW+に設定されていたときは、JPEGに変更されます。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。
- 📷モードでは、ドライブモードが「インターバル動画」のときだけ設定できます。

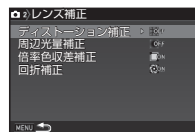
●メモ

- **A-HDR** モードまたは **SCN** モードの  に設定されているときは専用のHDR設定になるため、「HDR撮影」は設定できません。
-  1 メニューで設定したときは、「自動位置調整」のオン／オフが設定できます。
- ドライブモードが「インターバル撮影」に設定されているときは、「自動位置調整」はオフ固定です。

レンズ特性を補正する



 2 メニュー「レンズ補正」で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

●メモ

- ディストーション補正／周辺光量補正は、コントロールパネルで設定することもできます。
- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。(p.113) また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリを装着した場合は、設定は無効です。
- 「記録形式」がRAW／RAW+の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、RAW展開時にオン／オフが選択できます。また、RAW展開時には「フリッジ補正」が設定できます。(p.87)

ローパスフィルター効果を利用する



Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。コントロールパネルまたは **カメラ3** メニュー「ローパスセクター」で設定します。



Type1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
Type2	モアレ低減優先
ブラケット撮影	オフ／Type1／Type2の順に連続して撮影（1回のリリースで3枚撮影）

●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）
- 以下のときは「ブラケット撮影」は使用できません。
 - SCNモードの / /
 - Bモード
 - ドライブモードが1コマ撮影／セルフタイマー（12秒／2秒）／リモコン（即時／3秒後）以外するとき
 - HDR撮影
 - 撮影可能枚数が2枚以下のとき

質感を強調する



凹凸感や質感を強調して撮影します。

コントロールパネルまたは **カメラ2** / **カメラ1** メニュー「明瞭強調」で設定します。



●注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。（p.112）
- カメラ1モードでは、ドライブモードが「インターバル動画」のときだけ設定できます。

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、**▶1**メニュー (p.25) のほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能	参照
画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.80
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.84
色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正	p.84
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.83
トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り	p.83
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.106
スライドショー	画像を連続再生	p.80
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.70
クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.72
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換して保存	p.87

項目	機能	参照
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.86

*1 動画表示時は実行不可

*2 RAW画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可能

*4 動画表示時のみ実行可能

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚（6／12／20／35／80画像）ずつ表示します。

- 1 再生モードで  を左に
回す
複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼◀▶ 選択枠を移動
 ページ切り替え

- INFO** 複数画像表示
 選択画面



-  選択消去

- 2 **OK** を押す
 選択画像が1画像表示

選択して消去する

- 1 「複数画像を表示する」（p.78）の手順 1 の画面で、
 を押す
 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼◀▶ 選択枠を移動
OK 消去画像を選択／解除
 範囲指定
 選択画像を1画像表示
 ◀▶ で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

- 3  を押す
 消去の確認画面が表示

- 4 「消去」を選択、**OK** を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - RAW展開（p.87）
 - プロテクト（p.106）

フォルダーごとに表示する

- 1 「複数画像を表示する」(p.78)の手順1の画面で、
☺ を左に回す
フォルダーが表示



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|------|---------|
| ▲▼◀▶ | 選択枠を移動 |
| ☺ | フォルダー消去 |

- 2 **OK** を押す
フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

- 1 「フォルダーごとに表示する」(p.79)の手順1の画面で消去フォルダーを選択、☺ を押す
消去の確認画面が表示
- 2 「消去」を選択、**OK** を押す
フォルダーとフォルダー内画像が消去
フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示する」(p.78)の手順1の画面で、
INFO を押す
複数画像表示選択画面が表示

- 2 「撮影日別表示」を選択



撮影日 サムネイル

ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|-----|------------|
| ▲▼ | 撮影日選択 |
| ◀▶ | 撮影日内の画像を選択 |
| ☺ 右 | 選択画像を1画像表示 |
| ☺ | 選択画像を消去 |

- 3 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

連続して再生する（スライドショー）

1 再生モードパレットで を選択

スライドショー開始



ボタン・ダイヤル操作

	一時停止／再開
	前の画像を表示
	次の画像を表示
	停止
	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

●メモ

- スライドショーの表示間隔／画面効果／繰返し再生／動画自動再生について変更するときは、1メニュー「スライドショー」で設定します。この画面からスライドショーを開始することもできます。

画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。1メニュー「画像の自動回転」がオン（初期設定）に設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。

回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで を選択

画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲▼◀▶ で回転方向を選択、

 を押す

回転情報が更新



●注意

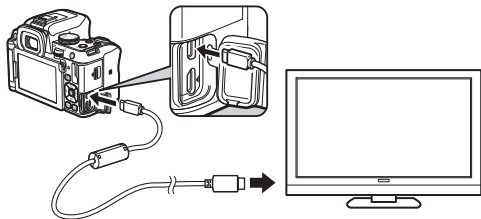
- C4**メニュー「24 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。HDMI端子（タイプD）を備えた市販のHDMIケーブルを用意してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV機器の映像入力端子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

●注意

- AV機器と接続中は、カメラの液晶面の向きにかかわらず画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。

●メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、メニュー「HDMI出力」で設定を変更してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。

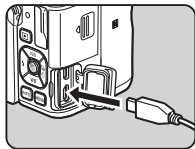
パソコンと接続する

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。
micro B端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、 USB端子にUSBケーブルを 接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識
カメラの**OK**のランプがゆっくり点滅

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

●注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
- 手順5でパソコンの画面に「K-S2」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリックします。

●メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.129)を参照してください。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、メニュー「USB接続」で設定します。初期設定は「MSC」になっており、通常は変更する必要はありません。
- 長時間使用するときには、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。

画像を加工・編集する

画像のサイズを変更する

④注意

- リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- すでに最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する（リサイズ）

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで $\square$ を選択 記録サイズ選択画面が表示

3 $\blacktriangleleft\blacktriangleright$ で記録サイズを選択、**OK** を押す 元の画像より小さいサイズから 選択可能 保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、**OK**を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで $\square$ を選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ／範 囲を指定



ボタン・ダイヤル操作



トリミングサイズ変更



トリミング範囲移動



アスペクト比・画像回転設定



トリミング範囲回転（可能時のみ）

4 **OK**を押す 保存の確認画面が表示

5 「保存」を選択、**OK**を押す

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択

補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示

3 ◀▶ で強度を選択、OK を押す

保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、OK を押す

●注意

- 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択
デジタルフィルター選択画面が表示3 フィルターを選択
で画像切り替え

ベースメイク	デッサン
色抽出	水彩画
色の置換え	パステル
トイカメラ	ボスタリゼーション
レトロ	ミニチュア
ハイコントラスト	ソフト
シェーディング	クロス
ネガポジ反転	フィッシュアイ
ソリッドモノカラー	スリム
ハードモノクローム	モノトーン
ドラマチックアート	

パラメーターの変更が不要なときは、手順7へ

4 INFO を押す

パラメーター設定画面が表示

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

6 OKを押す

手順3の画面に戻る

7 OKを押す

保存の確認画面が表示

8 フィルターを重ねる／保存を選択、OKを押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

●注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG／RAW画像のみです。

●メモ

- フィルターは撮影時デジタルフィルター (p.73) も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示

2 再生モードパレットで [F] を選択

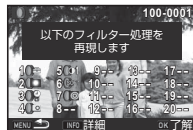
3 「フィルターを再現する」を選択、OKを押す

選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合は [INFO] を押す

再度 [INFO] を押すと元の画面に戻る



5 OKを押す

画像選択画面が表示

6 画像を選択、OKを押す

フィルター処理されていない画像のみ選択可能
保存の確認画面が表示



7 「保存」を選択、**OK**を押す

●メモ

- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

動画の編集

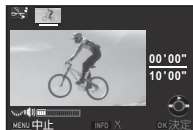
1 1画像表示で対象動画を表示

2 再生モードパレットでを選択 動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマが表示

4箇所（5分割）まで指定可能



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
	音量調節
INFO	分割位置指定／解除

消去しない場合は、手順7へ

4 を押す

消去指定画面が表示

5 ◀▶で選択枠を移動、**OK**を押す

消去範囲を選択（複数選択可能）
再度 **OK** を押すと、選択解除



6 **MENU**を押す

手順3の画面に戻る

7 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、**OK**を押す

●注意

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットでRAWを選択

処理単位を選択画面が表示

2 処理単位を選択、OKを押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ

画像／フォルダーの選択画面が表示

3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.78)の手順2を参照

4 INFOを押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーター設定方法を選択、OKを押す



撮影時の設定で展開	記録設定（JPEG記録サイズ／JPEG画質）を設定
設定を変更して展開	記録設定（アスペクト比／JPEG記録サイズ／JPEG画質／色空間）／レンズ補正（ディストーション補正／周辺光量補正／倍率色収差補正／回折補正／フリント補正）／デジタルフィルター／ホワイトバランス／カスタムイメージ／明瞭強調／増減感／高感度NR／シャドウ補正を設定

6 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作



パラメーター選択



値変更



（1画像選択時）画像切り替え

記録設定／レンズ補正は、▶を押してから▲▼で項目選択
デジタルフィルター／ホワイトバランス／カスタムイメージは、▶で設定画面を表示

7 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、**OK**を押す

「1画像選択」の場合は継続／終了を選択、**OK**を押す

⚠注意

- RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。
- パラメーターのデジタルフィルター／明瞭強調を同時に設定することはできません。

📌メモ

- 手順 2 で複数画像選択／フォルダー選択を選択した場合は、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG 画像が保存されます。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンでRAW展開ができます。

Wi-Fiを有効にする

本機はWi-Fi機能を内蔵しており、無線LAN経由でスマートフォンやタブレットなどの通信端末と直接接続し、本機を操作したり画像を共有することができます。

電源を入れたときは、Wi-Fi機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

- メニューで設定する (p.89)
- 自分撮り **SHUTTER** (Wi-Fi) を押す (p.90)
- 通信端末でタッチする (p.90)

メモ

- Wi-Fi 機能が有効になると、ステータススクリーン／ライブビューに無線LANの通信状態を表すアイコン  (白) が表示されます。 (グレー) が表示されているときは、アクセスポイントと正しく接続されていません。
- Wi-Fi 機能を有効に設定しても、電源を入れ直すと無効に戻ります。また、**カメラモード**にすると、Wi-Fiは無効になります。
- Wi-Fi の通信状態が接続中／画像転送中のときは、オートパワーオフは動きません。未接続／待機中にオートパワーオフに移行したときは、Wi-Fi機能は無効になります。オートパワーオフから復帰すると、有効になります。
- USB接続中は、Wi-Fi機能は無効です。

注意

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Wi-Fiを使用しないでください。
- Wi-Fi を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。
- 無線 LAN 機能を内蔵したメモリーカード (Eye-Fi カードや FLUカードなど) を利用する場合は、電波が干渉することがあるため、本機のWi-Fiを無効に設定してください。

メニューで設定する

3

1  3メニュー「Wi-Fi」を選択、▶を押す
「Wi-Fi」画面が表示

2 「動作モード」をオンに設定
Wi-Fiを無効にするときはオフに設定



3 **MENU** を2回押す

メモ

- 手順2の画面の「通信情報」で、無線LANのSSID／パスワード／MACアドレスが確認できます。また「通信設定のリセット」で、設定を初期状態に戻すことができます。

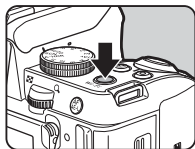
5

共有

自分撮り **SHUTTER** (Wi-Fi) を押す

1 自分撮り **SHUTTER** を長押しする

電子音が鳴り、画面に「Wi-Fi オン」と表示



2 自分撮り **SHUTTER** から指を放す

Wi-Fi機能を無効にするときは、もう一度自分撮り **SHUTTER** を長押しする

● 注意

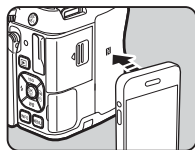
- 自分撮り **SHUTTER** のランプが緑または赤で点灯しているときは、自分撮り **SHUTTER** はシャッターボタンとして機能します。そのときは、他の方法でWi-Fi 機能のオン/オフを行ってください。

通信端末でタッチする

NFC機能を搭載した通信端末を本機に接触させることで、無線LAN接続します。(p.91)

1 通信端末でカメラのNFC マーク部に軽くタッチする

電子音が鳴り、画面に「Wi-Fi オン」と表示



● 注意

- 上記の操作を行う場合は、あらかじめ通信端末側のWi-Fi 機能とNFCリーダー/ライター機能がオンになっている必要があります。通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。

● メモ

- 通信端末に専用アプリ「Image Sync」がインストールされていた場合は、タッチ操作でWi-Fiがオンになると同時にImage Syncが起動します。(p.93) Image Syncがインストールされていない場合は、通信端末にアプリのダウンロードサイトが表示されます。

通信端末で操作する

本機と通信端末をWi-Fiで直接接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末に本機のライブビュー画像を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影を行う
画像閲覧	本機のメモリーカードに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込む

Image SyncはiOSとAndroidに対応しています。Image Syncは、App StoreまたはGoogle Playストアからダウンロードしてください。対応OSなどの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

●メモ

- 本書に掲載しているImage Syncの画面イラストは開発途中のものであり、実際の画面と異なる場合があります。また、アプリのバージョンアップ等により画面構成などが変更されることがあります。
- 通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書を参照してください。

通信端末とカメラを接続する

本機と通信端末をWi-Fiで接続し、通信端末にインストールしたImage Syncを起動します。

NFC対応の端末の場合

1 通信端末で無線LAN（Wi-Fi）機能とNFCリーダー／ライター機能をオンに設定する

2 通信端末でカメラのNFCマーク部に軽くタッチする
通信端末と本機がWi-Fiで接続

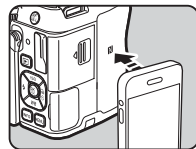


Image Syncが起動し、画像一覧が表示

NFC非対応の端末の場合

- 1 通信端末で無線LAN (Wi-Fi) 機能をオンに設定する
- 2 通信端末でImage Syncを起動する
通信端末に「SSID選択」画面が表示
- 3 「SSID一覧」で
「PENTAX_xxxxxx」をタップする
「パスワード入力」画面が表示



4 パスワードを入力し、「接続」をタップする

通信端末と本機がWi-Fiで接続
Image Syncのパスワード画面に
画像一覧が表示



メモ

- パスワードの初期設定は、3メニュー「Wi-Fi」の「通信情報」で確認できます。(p.89)

iOSの場合

1 通信端末で無線LAN(Wi-Fi)機能をオンに設定する
検出されたネットワークの一覧から「PENTAX_xxxxxx」を
タップする

2 パスワードを入力し、「接続」
をタップする
通信端末と本機がWi-Fiで接続

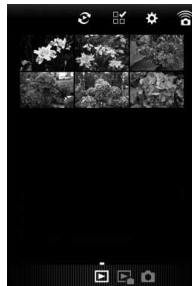


3 通信端末でImage Syncを起動する
Image Syncが起動
画像一覧が表示

Image Syncの画面

画面を左右にフリックすると、動作モードが切り替わります。

アプリ画像一覧



カメラ画像一覧



カメラモード

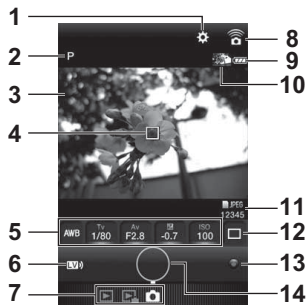


メモ

- 画面下に表示されているアイコンをタップして動作モードを切り替えることもできます。

通信端末から撮影する

Image Syncの撮影画面では、カメラのライブビュー画像と撮影に関するボタンが表示されます。



- 1 設定 (p.98)
- 2 撮影モード
- 3 ライブビュー
- 4 AF枠
- 5 ホワイトバランス/シャッター速度/絞り値/露出補正/ISO感度
- 6 ライブビューオン/オフ切り替え
- 7 動作モード切り替え
- 8 NFC接続画面を表示
- 9 バッテリー残量
- 10 直前に撮影した画像のサムネイル
タップすると、カメラ画像一覧画面を表示
- 11 記録形式/撮影可能枚数
- 12 ドライブモード
- 13 グリーンボタン
- 14 シャッターボタン

撮影のしかた

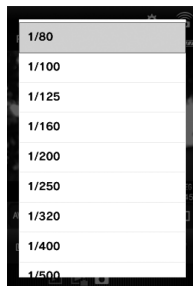
- 1 カメラで基本的な設定を行う
- 2 Image Syncの撮影画面でライブビューを確認する



- 3 必要に応じてImage Syncで設定を変更する



項目をタップし、一覧から値を選択



4 フォกัสモードが**AF**のときは、ライブビュー画像内のフォーカスする位置をタップする
タップした位置でオートフォーカスが作動

5 シャッターボタンをタップ
撮影画像がサムネイルに表示

●注意

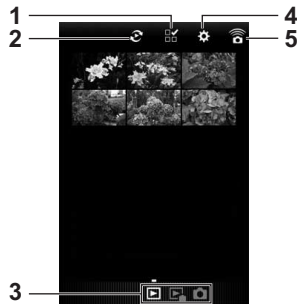
- 以下のときは、Image Syncから撮影はできません。
 - ドライブモードが「1コマ撮影」以外のとき
 - モード
 - USB/HDMI接続中
 - アストロトレサー
- 撮影された画像は、カメラのメモリーカードとImage Sync（通信端末）内に保存されます。メモリーカードの空き容量が足りない場合は、撮影ができません。

●メモ

- ライブビュー画像内をタップして撮影することもできます。「設定」画面の「タッチAF」で設定します。（p.98）

画像を閲覧する

通信端末またはカメラ内の画像を閲覧できます。



- 1 複数画像選択
- 2 アルバム切り替え（アプリ画像一覧のみ）
- 3 動作モード切り替え
- 4 設定（p.98）
- 5 NFC接続画面を表示

画像をタップすると、画像と撮影情報が表示されます。



タッチ操作

左右フリック	画像切り替え
ピンチアウト／ピンチイン	拡大／縮小

アルバムの切り替え

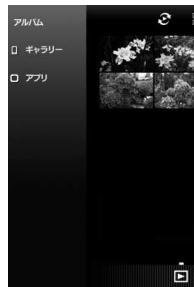
アプリ画像一覧画面で、アプリ内の画像を表示するかギャラリー（またはカメラロール）の画像を表示するかを切り替えます。

1 設定アイコンをタップする



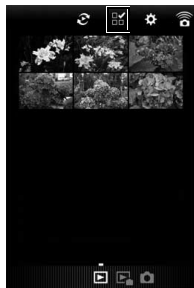
2 アルバムを選択する

選択した場所の画像が表示

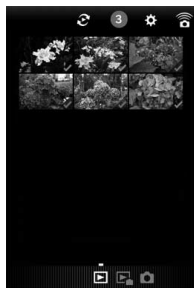


複数画像の選択

1 品をタップする

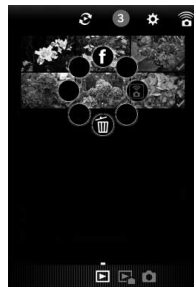


2 選択する画像をタップする 青のチェックマークが表示



3 いずれかの画像を長押しする

4 動作を選択する



メモ

- 一覧表示／撮影情報表示のときにも対象の画像上で長押しすると手順4の画面が表示され、動作が選択できます。

5

共有

設定を変更する

1 ☆をタップする



「設定」画面が表示



以下の設定が可能

タッチAF	ライブビュー内をタッチしたときに、オートフォーカスだけを行うかオートフォーカス後に撮影するかを選択
記録サイズ	記録サイズと画質を変更
一般設定	通信設定／言語設定を変更

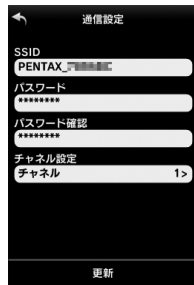
2 通信設定や言語表示を変更するときは「一般設定」をタップ

3 設定する項目をタップ

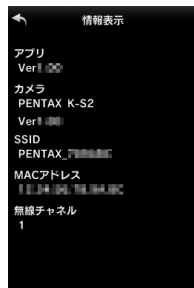


通信設定

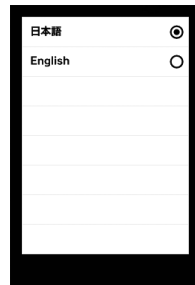
パスワードと無線チャンネルの変更が可能



情報表示



言語設定



4 設定が終わったら ← をタップ

5

共有

カメラの設定

ボタン／ダイヤルをカスタマイズする



電子ダイヤルの動作を設定する

☀ / ☂ / ●の動作を露出モード別に設定できます。

1 **4**メニュー「電子ダイヤル」を選択、▶を押す
「電子ダイヤル」画面が表示

2 露出モードを選択、▶を押す
選択した露出モードの画面が表示

3 ▶を押し、▲▼で ☀ / ☂ / ●の動作の組み合わせを選択

Tv	シャッター速度変更
Av	絞り値変更
ISO	ISO感度変更
	露出補正
→P	Pに戻る
P SHIFT	プログラムシフト
P LINE	プログラムライン
--	操作無効



4 **OK**を押す

5 **MENU**を押す
「電子ダイヤル」画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 **MENU**を2回押す

メモ

- 手順2で「回転方向設定」を選択すると、☀ / ☂ を操作したときの値の変化を逆方向に変更することができます。

ボタンの動作を設定する

RAW/Fx / **AF/AE-L** / 自分撮り **SHUTTER** の動作を設定します。

1 **4**メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を押す
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

2 ボタンを選択、▶を押す
各ボタンの設定画面が表示



3 ▶を押し、▲▼で割り当てる機能を選択 それぞれ以下の機能が割り当て可能

	設定	機能	参照
RAW/Fx ボタン	ワンタッチ RAW+	一時的に記録形式 を変更	p.102
	ブラケット撮影	ブラケット撮影を 設定	p.62
	光学プレビュー	被写界深度をファ インダーで確認	p.48
	デジタルプレ ビュー	構図・露出・ピン トなどを画像モニ ターで確認（最長 60秒） 拡大表示したり、 プレビュー画像の 保存が可能	
	Shake Reduction	Shake Reduction ／Movie SRのオ ン／オフ切り替え	—
	測距点切替	測距点移動を有効 に切り替え	p.56

	設定	機能	参照
AF/AE-L ボタン AF/AE-L ボタン (動画)	AF作動1	AF/AE-Lを押すと オートフォーカス が作動	p.54
	AF作動2	AF/AE-Lを押すと オートフォーカス が作動。SHUTTER 半押し無効	
	AFキャンセル	AF/AE-Lを押してい る間、フォーカス モードをMFにす る。SHUTTER半押 し無効	
	AEロック	露出を記憶	p.49
自分撮り シャッ ターボタ ン	オン	画像モニターを被 写体側に向けたと きに、シャッター ボタンとして機能	p.41
	オフ	常にWi-Fiのオン ／オフボタンとし て機能	p.90

4 OKを押す

5 MENUを押す

手順2の画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 MENUを2回押す

ワンタッチRAW+を設定する

RAW/Fxを押したときに変更する形式を、「記録形式」ごとに選択します。

1 「ボタンの動作を設定する」(p.100)の手順3で、「RAW/Fxボタン」を「ワンタッチRAW+」に設定

2 「撮影毎に解除」の☒/□を切り替え

☒	1回撮影するたびに「記録形式」の設定に戻る
☐	以下の操作を行うまで設定を継続 ・再度RAW/Fxを押す ・ ☒ /MENU/モードダイヤル/電源レバーのいずれかを操作

3 RAW/Fxを押したときの記録形式を選択

左が「記録形式」の設定、右がRAW/Fxを押したときの記録形式

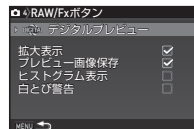


デジタルプレビュー時の表示を設定する

RAW/Fxを押してデジタルプレビューを表示したときの動作と表示情報を設定します。

1 「ボタンの動作を設定する」(p.100)の手順3で、「RAW/Fxボタン」を「デジタルプレビュー」に設定

2 ▼を押し、表示の☐/□/checkedを
設定



よく使う設定値を登録

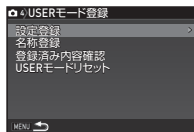


モードダイヤル **U1** / **U2** に、カメラの設定をまとめて登録して利用することができます。
以下の設定が登録できます。

露出モード (P / Sv / Tv / Av / TAv / M / B)	ドライブモード ホワイトバランス
ISO感度	☑ 1～4メニューの設定 (一部を除く)
露出補正	C1～4メニューの設定
測距点	
フラッシュモード	

設定を登録する

- 1 登録する露出モードと機能をすべて設定する
- 2 ☑ 4メニュー「USERモード登録」を選択、▶を押す
「USERモード登録」画面が表示
- 3 「設定登録」で▶を押す
「設定登録」画面が表示
- 4 USER1 / USER2を選択、▶を押す
- 5 「登録」を選択、OKを押す
手順3の画面に戻る



注意

- モードダイヤルが **AUTO** / **SCN** / **A-HDR** になっているときは、「USERモード登録」は選択できません。

メモ

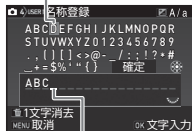
- 登録した設定内容は、手順 3 の画面で「登録済み内容確認」を選択すると確認できます。
- 設定を消去する場合は、手順3の画面で「USERモードリセット」を選択します。

名前を登録する

登録した設定に名前を付けることができます。

- 1 「設定を登録する」(p.103) の手順3で「名称登録」を選択、▶を押す
「名称登録」画面が表示
- 2 USER1 / USER2を選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示
- 3 文字を入力
半角18文字以内で英数字・記号を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
☺	文字入力カーソルを移動
📄	大文字／小文字切り替え
OK	文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力
🗑	文字入力カーソル位置の文字を消去

- 4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、**OK**を押す
「名称登録」画面に戻る

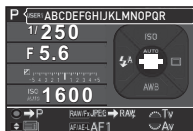
USERモードを利用する

6 設定

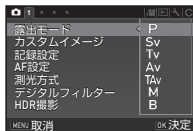
- 1 モードダイヤルをU1／U2に合わせる

USERモードのガイドが表示（約3秒間）

▲▼で登録内容の確認が可能



- 2 必要に応じて設定を変更
露出モードを変更する場合は📷1
メニュー「露出モード」で変更



メモ

- 手順2で変更した設定は、**USERモード**に登録されません。電源を切ると登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は登録をやり直してください。

目的地の日時を表示する

1

「初期設定」(p.36) で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

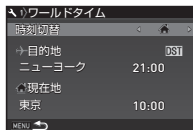
現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

1 メニュー「ワールドタイム」を選択

「ワールドタイム」画面が表示

2 「時刻切替」で表示する時刻を選択

⬇ (現在地) / ⬆ (目的地)



3 「⬆ 目的地」を選択、▶を押す

「⬆ 目的地」画面が表示

4 ◀▶で都市を選択

🗺で地図表示切り替え



5 「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑を設定

6 OKを押す

手順2の画面に戻る

7 MENU を2回押す

メモ

- 現在地／目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.128) を参照してください。
- 手順3で「⬆ 現在地」を選択すると、現在地の都市／夏時間を変更できます。
- 「時刻切替」を⬆に設定すると、コントロールパネルに⬆と目的地の日時が表示されます。

カメラに保存する設定を選択する

4

本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する(☑)か初期設定に戻す(☐)かを選択できます。

📷4メニュー「モードメモリ」で設定します。

フラッシュモード	フラッシュ光量補正
ドライブモード	デジタルフィルター
ホワイトバランス	HDR撮影
カスタムイメージ	明瞭強調
ISO感度	撮影情報表示
露出補正	再生情報表示

メモ

- 3メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

●注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

- 1 再生モードパレットで **ON** を選択
処理単位を選択画面が表示

- 2 画像選択／フォルダー選択
を選択、**OK** を押す



- 3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.78)の手順2を参照
「フォルダー選択」は、手順5へ

- 4 **INFO** を押す
確認画面が表示

- 5 「プロテクト」を選択、**OK** を押す

●メモ

- メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、**1**メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

フォルダー／ファイルの設定

2

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名を変更することができます。

- 1 **2**メニュー「フォルダー名」を選択、**▶**を押す
「フォルダー名」画面が表示

- 2 フォルダー名を選択、**OK** を押す



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が2桁で付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
PENTX	フォルダー番号の後ろに「PENTX」の文字列が付く 文字列を変更可能 例) 101PENTX

「日付」を選択した場合、または「PENTX」の文字列を変更しない場合は、手順6へ

3 ▼を押してから▶を押す 文字を入力する画面が表示

4 文字を入力 半角5文字で英数字を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
☺	文字入力カーソルを移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字 を文字入力カーソルの位置に入力
○	「PENTX」に戻す

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す 手順2の画面に戻る

6 MENU を2回押す

●メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただしブラケット撮影では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。

●注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダー使用時に、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル名の番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

フォルダー新規作成

2メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

●注意

- 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

●メモ

- 以下の場合は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
 - ドライブモード「インターバル撮影」(p.64)
 - ドライブモード「インターバル合成」で「途中経過保存」がオンのとき (p.65)
 - 「RAW展開」の複数画像選択／フォルダー選択 (p.87)

ファイル名

ファイル名の先頭には、C4メニュー「23 色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGPxxxx.JPG
AdobeRGB	_IMGxxxx.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

1 2メニュー「ファイル名」を選択、▶を押す
「ファイル名」画面が表示

2 設定アイコン/カメラアイコンを選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示



3 文字を入力
半角4文字以内で英数字を入力
入力方法は「フォルダー名」(p.106)の手順4~5を参照

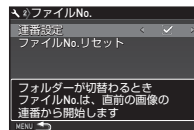
4 MENU を2回押す

メモ

- 色空間がAdobeRGBの場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- 動画は色空間の設定に関係なく「IMGPxxxx.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001～9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを2メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



☒	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
☐	フォルダーが新しくなると、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

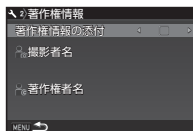
著作権情報を設定する

2

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

- 1 2メニュー「著作権情報」を選択、▶を押す
「著作権情報」画面が表示

- 2 ◀▶ で「著作権情報の添付」を指定

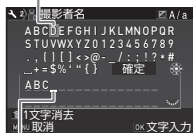


- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| ☐ | 著作権情報を記録しない |
| ☒ | 著作権情報を記録する |

- 3 撮影者名／著作権者名を選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示

- 4 文字を入力
半角32文字以内で英数字・記号を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶ 文字選択カーソルを移動

☺ 文字入力カーソルを移動

☑ 大文字／小文字切り替え

OK 文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力

☒ 文字入力カーソル位置の文字を消去

- 5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す
手順2の画面に戻る

- 6 MENU を2回押す

メモ

- Exif情報は、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

撮影モード 機能		AUTO	SCN									A-HDR	B	
ISO感度							×	×		×			ISO AUTO 不可	△*1
フラッシュ						×	×			×	×			×
ドライブ モード	連続撮影				固定		×			固定	×	×	×	×
	セルフタイマー			×					×					×
	リモコン			×					×					のみ
	ブラケット撮影			×			×		×		×	×	×	×
	多重露出			×			×		×		×			×
	インターバル撮影			×					×			×	×	×
	インターバル合成			×			×		×		×	×	×	×
	インターバル動画	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
フォーカスモード		A.F.A 固定	A.F.S 固定	A.F.S 固定	A.F.C 固定	A.F.S 固定	A.F.S 固定	A.F.C 固定	A.F.C 固定	A.F.C 固定	A.F.C 固定			
記録形式 RAW／RAW+							×				×			×

機能 \ 撮影モード	AUTO	SCN									A+HDR	B	
Shake Reduction							オン 固定					×	
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定			
カスタムイメージ	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2	×*2			
デジタルフィルター							×				×		
HDR撮影				×			×*3		×		×*3	×	△*4
ローパスセクター				△*5			×		△*5		×	△*5	×
バッファ RAW保存				×					×				×

*1 のみISO 100～3200で設定可

*2 撮影モードによって固定値がプリセット

*3 専用設定

*4 ドライブモード「インターバル動画」時のみ

*5 ブラケット不可

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

		デジタルフィルター	HDR撮影	明瞭強調	レンズ補正	ローパスセクター
フラッシュ			×			
ドライ ブモ ード	連続撮影		×			△ ^{*2}
	ブラケット撮影		×			△ ^{*2}
	多重露出	×	×	×	×	△ ^{*2}
	インターバル撮影	△ ^{*1}	△ ^{*1}	△ ^{*1}		△ ^{*2}
	インターバル合成	×	×	×	×	△ ^{*2}
	インターバル動画	△ ^{*1}	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	×
	スターストリーム	×	×	×	×	×
	記録形式RAW／RAW+		×			
デジタルフィルター			×	×		
HDR撮影		×				×

*1 「撮影間隔」の最短値に制限あり

*2 ブラケット不可

各種レンズ使用時の機能

DA/DA L/FA Jレンズ、または絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

これ以外のレンズや絞りを **A** 位置以外で使用する場合は、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

機能 レンズグループ [マウント名称]	DA DA L D FA	FA J FA ^{*6}	F ^{*6}	A	M P
	[KAF] [KAF2] [KAF3]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}	○ —	○ —	○ —	— △	— △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケーター 表示の利用) ^{*2} (マツ面の利用)	○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス	△ ^{*4}	✕	✕	✕	✕
測距点「オート」	○	○	○	△ ^{*8}	✕
測光方式「分割」	○	○	○	○	✕
P / Sv / Tv / Av / TA モード	○	○	○	○	△ ^{*9}
M モード	○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}	○	○	○	○	✕
レンズ焦点距離の自動取得	○	○	○	✕	✕
レンズ補正	○ ^{*5}	✕ ^{*7}	✕	✕	✕

- *1 レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能
- *2 レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
- *3 内蔵フラッシュまたはAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ II/AF200FG/AF160FC使用時
- *4 対応レンズのみ可能
- *5 DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正/周辺光量補正無効
- *6 FA SOFT 28mm F2.8/FA SOFT 85mm F2.8/F SOFT 85mm F2.8では、**C4**メニュー「28 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- *7 FA 31mm F1.8 Limited/FA 43mm F1.9 Limited/FA 77mm F1.8 Limitedのみ可能
- *8 「スポット」固定
- *9 絞りは開放の**Av** (絞りリング無効)

●注意

- ・絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置以外で使用したり、**A** 位置のないレンズやオート接写リング、オートベロースなどのアクセサリを取り付けた場合、**C4**メニュー「28 絞りリングの使用」で「許可」を設定しないと、カメラは作動しません。「絞りリングの使用を許可する」(p.115)を参照してください。
- ・沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

レンズ名称とマウント名称

DAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント(AFカブラーのないレンズはKAF3マウント)です。FAの単焦点レンズ(ズームでないレンズ)と、モーターを搭載していないDA/DA Lレンズ、D FA/FA J/FレンズのマウントはKAFマウントです。(本機はパワーズーム非対応)
詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA FISH-EYE 10-17mm F3.5-4.5 ED [IF] / DA 12-24mm F4 ED AL / DA 14mm F2.8 ED [IF] / DA 15mm F4 ED AL / FA★300mm F2.8 ED [IF] / DA★560mm F5.6 ED AW / FA★600mm F4 ED [IF] / FA★250-600mm F5.6 ED [IF]	ケラレが発生するので内蔵フラッシュ使用不可
F FISH-EYE 17-28mm F3.5-4.5	焦点距離が20mm未満ではケラレが発生することがある
DA 16-45mm F4 ED AL	焦点距離が28mm未満のとき、または焦点距離が28mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生することがある
DA★16-50mm F2.8 ED AL [IF] SDM	焦点距離が20mm以下のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1.5m未満のときはケラレが発生
DA 16-85mm F3.5-5.6 ED DC WR	焦点距離が24mm以下で撮影距離が0.8m以下のときはケラレが発生
DA 17-70mm F4 AL [IF] SDM	焦点距離が24mm未満のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生
DA 18-250mm F3.5-6.3 ED AL [IF]	焦点距離が35mm未満ではケラレが発生

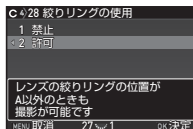
レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA 18-270mm F3.5-6.3 ED SDM	焦点距離が24mm未満ではケラレが発生することがある
FA★28-70mm F2.8 AL	焦点距離が28mmで撮影距離が1m未満のときは、ケラレが発生することがある
FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8	内蔵フラッシュは常にフル発光

絞りリングの使用を許可する

C4

D FA/FA/F/Aレンズで絞りをA位置以外にしたり、A位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「28 絞りリングの使用」で「許可」を選択します。



この場合、次の制約があります。

レンズ	制約
D FA/FA/F/A/M (レンズ単体、オート接写リングKなどの自動絞り機能のアクセサリーと組み合わせた場合)	絞りは開放固定 レンズの開放絞りに連動してシャッター速度は変化するが、露出の誤差が生じることがある
D FA/FA/F/A/M/S (接写リングKなどの絞り込み機能のアクセサリーと組み合わせた場合)	設定した絞り値で撮影されるが、露出の誤差が生じることがある
レフレックスレンズなどの手動絞りのレンズ (レンズ単体)	
FA SOFT 28mm/ FA SOFT 85mm/ F SOFT 85mm (レンズ単体)	手動絞りの範囲のみ、設定した絞り値で撮影

メモ

- 絞りをA位置以外にセットした場合、M/Bモード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、Avモードで動作します。
- ステータススクリーン/ファインダー内/ライブビューの絞り値は「F--」と表示されます。

絞りA位置以外で露出を測る方法

絞りをA位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が得られます。

- モードダイヤルをMに合わせる
- レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
- を押す
シャッター速度が適正値に設定
- 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整

レンズ焦点距離を入力する



Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動で取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

1 C4メニュー「28 絞りリングの使用」を「許可」に設定する

2 カメラの電源を切る

3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる
「焦点距離入力」画面が表示

4 ▲▼で焦点距離を選択

◀を押すと一覧から選択
ズームレンズ使用時は、撮影で使用する焦点距離を設定



5 OKを押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- レンズ焦点距離は、C3メニュー「焦点距離入力」で変更できます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などのさまざまなフラッシュ撮影ができます。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

カメラの機能 \ 対応フラッシュ	内蔵フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	○	○	○
フラッシュ自動発光	○	○	○
同調速度への自動切り替え	○	○	○
P/Tvモードで絞り値自動セット	○	○	○
P-TTLオートフラッシュ撮影	○*1	○*1	○*1
スローシンクロ撮影	○	○	○
フラッシュ光量補正	○	○	○
外付けフラッシュのAF補助光使用	✕	○*2	✕
後幕シンクロ撮影 *3	○	○	✕
光量比制御モード	△*4	○	△*5
スレープ機能	✕	○	✕
ハイスピードシンクロ撮影	✕	○	✕

- *1 DA/DA L/D FA/FA J/FA/F/Aレンズを使用した場合のみ可能
- *2 AF540FGZ/AF360FGZのAF補助投光は不可
- *3 シャッター速度は1/90秒以下
- *4 AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わせたときに、内蔵フラッシュ 1/3、外付けフラッシュ 2/3の光量配分で可能
- *5 AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わせた場合のみ可能

●注意

- 外付けフラッシュを取り付けた状態で、カメラの **[]** を押さないでください。内蔵フラッシュが外付けフラッシュに接触します。内蔵フラッシュと外付けフラッシュを同時に使用する場合は、延長コードを利用して接続してください。
- 極性が逆（ホットシュー中央の接点がマイナス）のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

●メモ

- AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIは、1/180秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。カメラの撮影モードを **Tv** / **TAv** / **M** に設定します。

GPSユニットを利用する

本機に別売のGPSユニットO-GPS1を装着すると、画像の撮影情報にGPS情報が記録されるほかに、以下の機能が利用できます。

電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き（方位）、協定世界時、撮影モード、露出値を表示 
アストロトレース	天体を追尾して撮影 カメラに内蔵されているShake Reductionユニットを天体の動きに合わせて動かすことによって、長時間露光でも天体を点状に撮影可能（p.118）
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメラの日時設定を自動的に補正

●メモ

- GPSユニットの取り付け方や機能の詳細は、GPSユニットの使用説明書を参照してください。
- 「電子コンパス」は、「撮影情報表示選択」（p.13）で表示することができます。

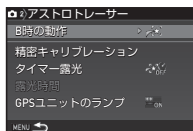
●注意

- 本機では「直線ナビ」は使用できません。

天体を撮影する（アストロトレーサー）



- 1 モードダイヤルをBに合わせる
- 2 **カメラ2**メニュー「GPS」を選択、**▶**を押す
「GPS」画面が表示
- 3 「アストロトレーサー」で**▶**を押す
「アストロトレーサー」画面が表示
- 4 「B時の動作」で を選択、**OK**を押す



- 5 撮影時間を指定する場合は「タイマー露光」でオンを選択、「露光時間」で時間を指定
0'10"～5'00"で設定

- 6 **MENU** を3回押す
撮影待機状態に戻る

- 7 **SHUTTER** 全押し
撮影開始

- 8 もう一度 **SHUTTER** 全押し
撮影終了
「タイマー露光」を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影が終了

困ったときは

メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきけない	内蔵フラッシュが充電中	充電が完了するまで待ってください。
	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りがA位置以外になっている	絞りをA位置にするか、C4メニュー「28 絞りリングの使用」で「許可」を選択してください。(p.115)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスが苦手なものを被写体している	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、 AF が苦手なものです。撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、 MF を使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。
フォーカスロックできない	ライブビューのAFモードが $\square$ になっている	「コントラストAF」を $\square$ ／ $\square$ に設定してください。（p.57）
内蔵フラッシュが発光しない	フラッシュモードが $\square$ ／ $\square$ になっている	フラッシュモードが $\square$ ／ $\square$ になっているときは、被写体が明るいと発光しません。フラッシュモードを変更してください。（p.53）
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	$\square$ 2メニュー「USB接続」を「MSC」に設定してください。
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	$\square$ 4メニュー「ダストリムーバル」を実行してください。電源ON／OFF時に毎回作動させることもできます。それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」（p.120）を参照してください。

現象	原因	対処方法
撮影画像や画像モニターの表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	$\square$ 4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング

4

ミラーをアップし、ブロアーを使ってクリーニングします。

- 1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 4メニュー「センサークリーニング」を選択、▶を押す
「センサークリーニング」画面が表示
- 4 「ミラーアップ」を選択、OKを押す
ミラーがアップし、OKのランプがゆっくり点滅
- 5 ブロアーを使用してクリーニングする
- 6 電源を切る
ミラーが戻る

●注意

- スプレー式またはブラシ付きのブロアーは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブロアー先端をレンズマウント面より中に入れないでください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミが外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブロアーを使用してください。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためクリーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

●メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センター、またはお客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱいになり画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使ったメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされていません。(p.137)
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。(p.106)

エラーメッセージ	内容
電池容量が足りないためピクセルマッピングを行えません	ピクセルマッピング／センサークリーニング／アップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量が足りないためクリーニングを行えません	
電池容量が足りないためアップデートを行えません	
ファイルが壊れているためアップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
正しく処理できませんでした	マニュアルホワイトバランス調整に失敗しました。もう一度やり直してください。
これ以上選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しようとしています。 - 選択消去 - RAW展開 - プロテクト
処理できる画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、またはRAW展開できる画像がありません。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサイズ／トリミング／デジタルフィルター／動画編集／RAW展開／マニュアルWB登録を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ／トリミングを実行した場合に表示されます。

エラーメッセージ	内容
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、 設定できない機能を設定しようとしています。
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が 切れます。しばらくしてから電源を入れて てください。
撮影できる状態まで レンズのズームリングを まわしてください	沈胴式レンズを装着しているときに、レ ンズが収納されているため撮影ができま せん。

主な仕様

型式

型式	P-TTLフラッシュ内蔵 TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント (AFカバー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF3、KAF2 (パワーズーム非対応)、KAF、KAマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS、サイズ：23.5×15.6mm
有効画素数	約2012万画素
総画素数	約2042万画素
ダストリムーバル	撮像素子駆動およびSPコーティング
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO／100～51200 (1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (SR：Shake Reduction)
ローパスセレクト ター	SRユニットを用いたモアレ低減機能、OFF／Type1／Type2／ブラケット撮影

記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF／DNG)、JPEG (Exif 2.30準拠)、DCF 2.0準拠
記録サイズ (画素数)	JPEG：[L] (20M：5472×3648)、[M] (12M：4224×2816)、[S] (6M：3072×2048)、[XS] (2M：1920×1280) RAW：[L] (20M：5472×3648)
画質	RAW (12bit)：PEF、DNG JPEG：★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー)、RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB

記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード (SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTX)
記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo.設定：連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95× (50mm F1.4・∞)
アイレリーフ長	約20.5mm (見口枠より)、約22.3mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-2.5～+1.5m ⁻¹
フォーカシング スクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
フォーカス	コントラスト検出式 (顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット) フォーカスアシスト (ON/OFF)
表示	視野率約100%、電子水準器表示、拡大表示 (最大10倍まで)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示)、ヒストグラム表示、白とび警告

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、エアギャップ レス構造、強化ガラス製カバー、バリアングル式
イメージサイズ	3.0型 (3：2)
ドット数	約92.1万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整

ホワイトバランス

方式	撮像素子および光源検知センサーによる併用方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D: 昼光色、N: 昼白色、W: 白色、L: 電球色)、白熱灯、フラッシュ、CTE、マニュアル、色温度設定、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX X、11点測距 (中央9点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -3 ~ 18 (ISO 100、常温)
AFモード	シングルAF (AF.S)、コンティニュアスAF (AF.C)、自動選択AF (AF.A)
AFエリア	11点オート、5点オート、セレクト、セレクトエリア拡大、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	TTL開放77分割測光、分割/中央重点/スポット
露出範囲	EV 0 ~ 22 (ISO 100・50mm F1.4)
露出モード	AUTO モード (標準、人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト)、 SCN モード (人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR、ナイトスナップ、料理、ペット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館)、 A-HDR モード (±1EV、±2EV、±3EV切り替え可) プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、バルブ・夜景HDR、 A-HDR は、JPEGで固定
露出補正	±5 EV (1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能)
AEロック	ボタンカスタマイズにて AF/AE-L に割り当て可能

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカスブレーンシャッター
シャッタースピード	オート: 1/6000秒~30秒、マニュアル: 1/6000秒~30秒 (1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、バルブ

ドライブ

ドライブモード	[静止画] 1コマ、連続 (H、L)、セルフタイマー (12秒後、2秒後、連続)、リモコン (即、3秒後、連続)、ブラケット、多重露出 (連続/セルフタイマー/リモコンとの併用可能)、インターバル撮影、インターバル合成 [動画] リモコン、インターバル動画、スターストリーム ・ブラケット、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリームはセルフタイマー/リモコンとの併用可能
連続撮影	最高約5.5コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続H): 30コマ、RAW: 9コマ、RAW+: 6コマ 最高約3.0コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続L): 100コマ、RAW: 14コマ、RAW+: 8コマ ・連続撮影可能コマ数はISO 100のとき
多重露出	合成方法: 加算/平均/比較明 撮影回数: 2~2000回
インターバル	[インターバル撮影] 撮影間隔: 2秒~24時間/撮影待機時間: 最短・1秒~24時間、撮影回数: 2~2000回、開始トリガー: 即時/時刻指定 [インターバル合成] 撮影間隔: 2秒~24時間/撮影待機時間: 最短・1秒~24時間、撮影回数: 2~2000回、開始トリガー: 即時/時刻指定、合成方法: 加算/平均/比較明、途中経過保存: オン/オフ [インターバル動画] 記録サイズ: [4K] / [FHD] / [HD]、撮影間隔: 2秒~24時間/撮影待機時間: 最短・1秒~24時間、撮影回数: 8~2000回 ([4K] は8~500回)、開始トリガー: 即時/時刻指定 [スターストリーム] 記録サイズ: [4K] / [FHD] / [HD]、撮影待機時間: 最短・1秒~24時間、撮影回数: 8~2000回 ([4K] は8~500回)、開始トリガー: 即時/時刻指定、フェードアウト: オフ/弱/中/強

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ポップアップ式P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約12 (ISO 100・m)、28mmレンズの画角(35ミリ判換算)をカバー
発光方式	自動発光 (AUTO、SCNモード時)、自動発光+赤目軽減 (AUTO、SCNモード時)、強制発光、強制発光+赤目軽減、スローシンクロ、スローシンクロ+赤目軽減、後幕シンクロ、マニュアル発光 (FULL~1/128)
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補正	-2.0~+1.0 EV
外付けフラッシュ	対応、P-TTL、先幕シンクロ、後幕シンクロ、光量比制御、ハイスピードシンクロ ワイヤレスシンクロ可能 ・外付けフラッシュ 2台使用時

撮影機能

カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
HDR撮影	オート/Type1/Type2/Type3、振り幅設定、自動位置調整
明瞭強調	オン/オフ
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクション	長秒時NR、高感度NR
電子水準器	ファインダー内表示 (左右の傾き)、画像モニター表示 (左右・前後の傾き)
自動水平補正	SRオン時：最大1度まで補正可能、SRオフ時：最大1.5度まで補正可能

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV) ・インターバル動画/スターストリーム時はMotion JPEG (AVI)
記録サイズ フレームレート	FullHD (1920×1080, 30p/25p/24p)、 HD (1280×720, 60p/50p)
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能 (ステレオ録音)、録音レベル調整可能 (録音レベル表示あり)
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
HDR撮影 ・インターバル動画時のみ	オート/Type1/Type2/Type3、振り幅設定可
明瞭強調 ・インターバル動画時のみ	オン/オフ

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示 (6、12、20、35、80画面)、拡大 (最大16倍まで、クイック拡大可)、回転表示、ヒストグラム表示 (Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、GPS情報 (緯度、経度、標高、協定世界時)、方位、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去

デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ボスタリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モノトーン
RAW展開	RAW画像選択：1画像選択／複数画像選択／フォルダー選択 RAW展開パラメーター：記録形式（JPEG）、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間、ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、フリッジ補正、ホワイトバランス、カスタムイメージ、デジタルフィルター、明瞭強調、増減感、高感度NR、シャドー補正
編集機能	画像回転、色モアレ補正、リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可、傾き修正可）、動画編集（分割および不要部分消去）、動画フレーム画像JPEG保存、パッファRAW保存

カスタマイズ機能

ユーザーモード	最大2件まで登録可
カスタムファンクション	28項目
モードメモリ	12項目
電子ダイヤル	露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種
カスタムボタン	RAW/FX ボタン（ワンタッチRAW+、ブラケット撮影、光学プレビュー、デジタルプレビュー、Shake Reduction、測距点切替） AF/AF-L ボタン（AF作動1、AF作動2、AFキャンセル、AEロック、静止画動画で個別設定可能） 自分撮り SHUTTER （オン、オフ）

オートフォーカスカスタマイズ	AF.Sの動作：フォーカス優先／リリース優先から選択可 AF.C 1コマ目の動作：リリース優先／オート／フォーカス優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作：フォーカス優先／オート／コマ速優先から選択可 AFホールド：オフ／弱／中／強から選択可 インターバル撮影中のAF：フォーカスロックする／フォーカスロックしないから選択可
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整（最大20本まで登録可）
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC128J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数...フラッシュ 50%発光：約410枚、フラッシュ発光なし：約480枚 再生時間...約270分 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0（micro-Bタイプ）、HDMI出力端子（タイプD）、ステレオマイク入力端子
USB接続	MSC／PTP

無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数（中心周波数）	2412MHz～2462MHz（1ch～11ch）
セキュリティ	認証方式：WPA2 暗号化方式：AES

NFC

準拠規格	ISO/IEC14443 TypeA、ISO/IEC14443 TypeB、JIS X 6319-4（自動選択）
使用周波数	13.56MHz

外形寸法・質量

外形寸法	約122.5mm（幅）× 91mm（高）× 72.5mm（厚） （突起部を除く）
質量	約678g（バッテリー、SDカード付き）、約618g （本体のみ）

付属品

同梱物	ストラップ O-ST132、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109、専用充電器 D-BC109、ACコード、ソフトウェア（CD-ROM）S-SW156、スタートガイド <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ Fr、ホットシューカバー Fk、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

別売アクセサリ対応

GPSユニット	O-GPS1：GPS情報（緯度、経度、標高、協定世界時）、方位、電子コンパス、アストロトレーサー
---------	--

撮影可能枚数と再生時間

（バッテリーフル充電時）

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率 50%	使用率 100%	
D-LI109	23°C	約480枚	約410枚	約360枚	約270分

- 撮影枚数（一般撮影、フラッシュ使用率50%）はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

（2GBのメモリーカード使用時）

記録サイズ	JPEG画質			PEF	DNG
	★★★	★★	★		
L 20M	134枚	304枚	596枚	59枚	59枚
M 12M	224枚	503枚	975枚	—	—
S 6M	418枚	917枚	1707枚	—	—
XS 2M	1024枚	2119枚	3615枚	—	—

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

現在地／目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル／アンカレジ／バンクーバー／サンフランシスコ／ロサンゼルス／カルガリー／デンバー／シカゴ／マイアミ／トロント／ニューヨーク／ハリファックス
中南米	メキシコシティ／リマ／サンティアゴ／カラカス／プエノスアイレス／サンパウロ／リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン／マドリード／ロンドン／パリ／アムステルダム／ミラノ／ローマ／コペンハーゲン／ベルリン／プラハ／ストックホルム／ブダペスト／ワルシャワ／アテネ／ヘルシンキ／モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール／アルジェ／ヨハネスブルグ／イスตันบูล／カイロ／エルサレム／ナイロビ／ジッダ／テヘラン／ドバイ／カラチ／カブール／マレー／デリー／コロンボ／カトマンズ／ダッカ
東アジア	ヤンゴン／バンコク／クアラルンプール／ビエンチャン／シンガポール／プノンペン／ホーチミン／ジャカルタ／香港／北京／上海／マニラ／台北／ソウル／東京／グアム
オセアニア	パース／アデレード／シドニー／ヌーメア／ウェリントン／オークランド／パゴパゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM（S-SW156）からインストールができます。本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8.1（32bit／64bit）／Windows 8（32bit／64bit）／Windows 7（32bit／64bit）／Windows Vista（32bit／64bit）
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約10MB（JPEG）または約20MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.10／10.9／10.8／10.7
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約10MB（JPEG）または約20MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。（Windows 8.1／Windows 8は、標準搭載の再生ソフトで再生可能）
QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。
<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

記号

☑メニュー	21
📷メニュー	25
📺メニュー	25
🔍メニュー	26
Cメニュー	28
👤モード	49
👤人物	45
🌄風景	45
✳️マクロ	45
👤動体	45
👤夜景人物	45
🌃夜景	45
🌌青空	45
🌲フォレスト	45
🌃夜景	45
🌃夜景HDR	45
👤ナイトスナップ	45
🍴料理	45
🐾ペット	45
👤キッズ	45
🌨️サーフ&スノー	46
🌅逆光シルエット	46
🕯️キャンドルライト	46
🎭ステージライト	46
🎨美術館	46

数字

1画像表示	14, 42
1コマ撮影	59

A

ACアダプター	33
AEロック	49, 101
AF	54
AFA	55
AFC	55
AF.C 1コマ目の動作	55
AF.C連続撮影中の動作	55
AFS	55
AF.Sの動作	55
AF/AE-L ボタン	101
AFエリア	57
AFカブラー	7
AFキャンセル	101
AF微調整	58
AFフレーム	40, 41
AFホールド	55
AF補助光	55
AF補助光ランプ	7
AFモード	55, 57
AFロック時のAE-L	28
A-HDRモード	46
AUTOモード	39
AV機器	81
Avモード	47
AWB	68

B

B時の撮影方法	28
Bモード	47

C

CTE	68
D	
DCカブラー	33
Digital Camera Utility 5..	129
DNG	44
D-Range設定	74

G

GPSユニット	117
---------	-----

H

HDMI出力	81
HDMI端子	81
HDR撮影	46, 74

I

Image Sync	93
ISO感度	51
ISO感度ステップ	51

J

JPEG	44
------	----

L

Language/言語	26, 36
LCD設定	26

M

Macintosh	129
MF	54

Motion JPEG	66
Movie SR	25
MSC	119
Mモード	47

N

NFC	91
NFCマーク	7, 90

P

PEF	44
PTP	119
Pモード	47

Q

QuickTime	129
-----------	-----

R

RAW	44
RAW/Fxボタン	101
RAW追加保存	23, 40, 43
RAW展開	87
RGBヒストグラム	15

S

SCNモード	45
SDメモリーカード	34
Shake Reduction	22
Svモード	47

T

TAvモード	47
--------	----

TTL 位相差検出式	54	色モアレ補正	84	カスタムイメージ	71	クロスプロセス登録	72
Tv モード	47	インターバル合成	65	カスタムメニュー	28		
U		インターバル撮影	64	画像仕上	71	け	
USB 接続	82, 119, 129	インターバル撮影中の AF	65	画像の自動回転	80	蛍光灯 (ホワイトバランス)	
USB 端子	82	インターバル撮影の動作	65	画像モニター	10, 35		68
USER モード	103		65	合焦マーク	40	ケルビン	70
		インターバル動画	66	画面表示	26, 38	言語設定	37
W				感度	51	現在地	37, 105
WB の光源調整範囲	69	え		感度優先自動露出	47	現像	87
Wi-Fi	89	エラーメッセージ	121				
Windows	129			き		こ	
あ		お		キッズ (SCN)	45	光学プレビュー	101
青空 (SCN)	45	オート (測距点)	56	輝度ヒストグラム	15	高感度 NR	52
赤目軽減	53	オートパワーオフ	36	機能制限	110	光量補正	53
明るさ補正	74	オートピクチャーモード	39	逆光シルエット (SCN) ..	46	コンティニュアスモード	
鮮やか (カスタムイメージ)		オートフォーカス	54	キャッチインフォーカス ..	29	(AF モード)	55
.....	71	音声	49	キャンドルライト (SCN)		コントラスト AF	57
アストロトレサー	118				46	コントラスト検出式	54
アスペクト比	83, 87	か		強制発光	53	コントロールパネル ..	12, 18
アップデート	27	カード	34	記録形式	44		
アドバンスド HDR モード ..	46	カードアクセスランプ	7	記録サイズ	44	さ	
.....	46	回折補正	75	記録設定	44	サーフ&スノー (SCN) ..	46
後幕シンクロ	53	回転	80	銀残し (カスタムイメージ)		サイズ変更	83
アフターサービス	140	回転情報の記録	80		71	再生情報表示選択	14
い		回転方向設定	100	く		再生メニュー	25
色温度	70	ガイドナンバー	54	クイック拡大	25	再生モード	42
色温度ステップ	70	ガイド表示	26, 39	クイックビュー	23, 40	再生モードパレット	77
色空間	29, 108	顔検出 (コントラスト AF)		クリーニング	120	撮影	39
色抽出 (デジタルフィルタ)			57	グリッド表示	22	撮影可能枚数	127
.....	73, 84	拡大	43	クロス (デジタルフィルタ)		撮影者名	109
色の置換え (デジタルフィルター)		加工	83		84	撮影情報表示選択	13
.....	73, 84	画質	44	クロスプロセス (カスタム		撮影待機状態	10
		カスタマイズ	100	イメージ)	71	撮影日別表示	79

し			
シーンモード	45	初期設定	36
シェーディング (デジタル フィルター)	73, 84	白とび警告	22, 23, 25
時刻切替	105	シングルモード (AFモード)	55
自動時刻修正	117	人物 (SCN)	45
自動水平補正	22	人物 (カスタムイメージ)	71
自動発光	53	す	
視度調整レバー	16	スーパーインポーズ	16
自分撮り	41	水彩画 (デジタルフィル ター)	84
自分撮りシャッターボタン	41, 90, 101	スターストリーム	67
絞り値	47	ステージライト (SCN) ..	46
絞り優先自動露出	47	ステータススクリーン	11
絞りリング付きレンズ ..	115	ストラップ	30
絞りリングの使用	115	スピーカー	7
シャープネス (カスタムイ メージ)	71	スポット (コントラストAF)	57
シャッター&絞り優先自動 露出	47	スポット (測距点)	56
シャッター速度	47	スポット測光	52
シャッター優先自動露出	47	スライドショー	80
シャドー補正	74	スリム (デジタルフィル ター)	84
十字キー	10	スローシンクロ	53
充電	31	せ	
充電中のリリース	53	静止画	45
周辺光量補正	75	接続ケーブルカバー	33
仕様	123	セルフタイマー撮影	60
消去	43	セレクト (コントラストAF)	57
詳細情報表示	14	セレクト (測距点)	56
詳細設定メニュー	26	セレクトエリア拡大 (測距 点)	56
焦点距離入力	116	全画像消去	25
初期化	38	全画像プロテクト	25
		センサークリーニング ..	120
		選択消去	78
		そ	
		増減感	87
		操作部の発光	27
		像面位置マーク	7
		測距点	56
		測距点と露出の関連付	52
		測光作動時間	28
		測光方式	52
		外付けフラッシュ	116
		ソフト (デジタルフィル ター)	84
		ソフトウェア	129
		ソリッドモノカラー (デジ タルフィルター)	73, 84
		た	
		ダイナミックレンジ	74
		ダイヤル	8
		ダイヤル指標	39
		太陽光 (ホワイトバランス)	68
		ダイレクトキー	18
		多重露出	63
		ダストリムーバー	119
		多点オート (コントラスト AF)	57
		ち	
		中央重点測光	52
		長秒時NR	48
		著作権者名	109
		著作権情報	109
		沈胴式レンズ	40
		つ	
		追尾 (コントラストAF)	57
		通信情報	89
		通信端末	91
		吊り環	30
		て	
		ディストーション補正	75
		デジタルフィルター ..	73, 84
		デジタルレビュー	101
		デッサン (デジタルフィル ター)	84
		テレビ	81
		電源	36
		電子音	26
		電子コンパス	13, 117
		電子水準器	13, 17
		電子ダイヤル	100
		天体撮影	118
		と	
		トイカメラ (デジタルフィ ルター)	73, 84
		動画	49
		動画編集	86
		動画メニュー	25
		動作環境	129
		動体 (SCN)	45
		都市名	128
		ドライブモード	59

ドラマチックアート (デジ タルフィルター)	84
トリミング	83
曇天 (ホワイトバランス)	68

な

内蔵フラッシュ	53
ナイトスナップ (SCN) ..	45
ナチュラル (カスタマイ メージ)	71
夏時間	37, 105

に

日時設定	26, 37
認証マーク	27, 138

ね

ネガポジ反転 (デジタル フィルター)	73, 84
------------------------------	--------

の

ノイズリダクション ..	48, 52
--------------	--------

は

バージョンアップ	27
バージョン情報	27
ハードモノクローム (デジ タルフィルター)	73, 84
ハイコントラスト (デジタ ルフィルター)	73, 84
配色	26, 38
ハイスピードシンクロ撮影	117
ハイライト補正	74

倍率色収差補正	75
白熱灯 (ホワイトバランス)	68
白熱灯下のAWB	69
パステル (デジタルフィル ター)	84
パソコン	82
バッテリー	31
バッファ RAW保存	43
バルブ露出	47
範囲指定	78

ひ

日陰 (ホワイトバランス)	68
ピクセルマッピング	119
被写界深度	48
美術館 (SCN)	46
ヒストグラム表示	15, 22, 23

ふ

ファームウェア	27
ファイルNo.	108
ファイル形式	44
ファイル名	108
ファインシャープネス (カ スタムイメージ)	71
ファインダー	16
ファインダー撮影	39
フィッシュアイ (デジタル フィルター)	84
フィルター	73, 84
風景 (SCN)	45

風景 (カスタムイメージ)	71
フォーカスアシスト	57
フォーカスモード	54
フォーカスモード切替レ バー	39, 54
フォーマット	38
フォルダー新規作成	107
フォルダー表示	79
フォルダー名	106
フォレスト (SCN)	45
複数画像表示	78
付属ソフトウェア	129
ブラケット撮影	62
ブラケット撮影順	62
フラッシュ	53, 116
フラッシュ (ホワイトバ ランス)	68
フラッシュ発光時のWB ..	69
フリッカー低減	27
フリッジ補正	87
フレームレート	44
プレビュー	48
プログラム自動露出	47
プロテクト	106
分割測光	52
分割表示	43, 78

へ

ベースメイク (デジタル フィルター)	84
ペット (SCN)	45
編集	83

ほ

保護	106
ボスタリゼーション (デジ タルフィルター)	84
補正	74
ボタン	8
ボタンカスタマイズ	100
ホットシュー	7
ポップチューン (カスタム イメージ)	71
ボディライト	27
ほのか (カスタムイメージ)	71
ボリュームラベル	38
ホワイトバランス	68

ま

マイク	7, 50
マイク端子	50
マウント指標	30
マウント名称	113
マクロ (SCN)	45
マニュアルWB登録	70
マニュアル発光	53
マニュアルフォーカス ..	54
マニュアルホワイトバラン ス	70
マニュアル露出	47
マルチパターンオート (ホ ワイトバランス)	68

み

ミニチュア (デジタルフィ ルター)	84
-----------------------------	----

雅 (MIYABI) (カスタマイ メージ)	71
ミラー	7
ミラーアップ	120
ミレッド	70

む	
無線LAN	89

め	
明瞭強調	76
メニュー	19
メニュー選択の記憶	20
メモリーカード	34

も	
モードダイヤル	39
モードメモリ	105
モアレ低減	76
目的地	105
文字サイズ	26, 37
文字入力	103
モノトーン (カスタマイ メージ)	71
モノトーン (デジタルフィ ルター)	84

や	
夜景 (SCN)	45
夜景HDR (SCN)	45
夜景人物 (SCN)	45

ゆ	
夕景 (SCN)	45

ろ	
ライブビュー	11, 22
ライブビュー撮影	41
ランプ	10

り	
リサイクル	33
リサイズ	83
リセット	27, 29
リバーサルフィルム (カス タマイメージ)	71
リモート撮影	91
リモコン撮影	61
リモコン時のAF	61
リモコン受光部	7
料理 (SCN)	45

れ	
レトロ (デジタルフィル ター)	73, 84
レバー	8
レンズ	30, 113
レンズ焦点距離	116
レンズ情報接点	7
レンズ取り外しボタン	31
レンズ補正	75
連続再生	80
連続撮影	60
連動外の自動補正	28
連番設定	108

ろ	
ローパスセクター	76
ローパスフィルター	76
録音レベル	50

録画可能時間	49
露出設定ステップ	48
露出ブラケット	62
露出補正	48
露出モード	47, 104

わ	
ワールドタイム	105
ワンタッチRAW+	102
ワンブッシュブラケット	62

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにはこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC109で充電式リチウムイオンバッテリーD-L109以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとする、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

警告

- ・バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

- ・本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- ・バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- ・万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- ・バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

警告

- ・カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 3. バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- ・長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- ・バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- ・バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- ・充電は使用する当日か前日にするをお勧めします。
- ・本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC109専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- ・高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- ・強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- ・カメラの使用温度範囲は-10～40℃です。
- ・高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ・ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- ・三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

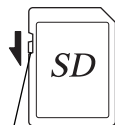
- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のプロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- ・高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- ・防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- ・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- ・SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- ・カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- ・SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- ・SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- ・SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- ・SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- ・長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- ・SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



無線LAN機能について

- ・電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- ・データはお客様の責任において管理してください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づき技術基準に適合し、技術マークを画面に表示することができます。

認証マークの表示方法

▼4メニュー「認証マーク」で電波法ならびに電気通信事業法に基づく基準適合マークを表示できます。メニューの操作については、「メニューで設定する」(p.19)を参照してください。

商標について

- ・Microsoft、Windows、Windows VistaおよびPhotosynthは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Macintosh、OS X、QuickTime、iPhoneおよびApp Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・SDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
- ・Google、Google Play、Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ・Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- ・N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- ・iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- ・Facebookは、Facebook, Inc.の登録商標です。
- ・Twitterは、Twitter, Inc.の登録商標です。
- ・Tumblrは、Tumblr, Inc.の登録商標です。
- ・この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
- ・DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。
- ・SILKPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- ・その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- ・本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT Fontを使用しています。
- ・本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
- PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (c) T.Teranishi.

Copyright (c) TeraTerm Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - ・ 火災・天災・地変等による故障
 - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - ・ 修理で依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

**Pentax Ricoh
Family Club**

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-6327-3700 FAX 03-6327-3701

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ショールーム・ギャラリーのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）

TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間 10:30～18:30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座

TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階

営業時間 11:00～19:00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪

TEL 06-6271-7996（代）

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い

<http://www.ricoh-imaging.com/registration/>

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

本製品に関するお問い合わせ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

お客様相談センター



ナビダイヤル 0570-001313
(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)
営業時間 9:00～17:30 (平日) 10:00～17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み



ナビダイヤル 0570-001301
(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)
営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスIIビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスIIビル3階

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。